

JR茨木駅・阪急茨木市駅 西口駅前周辺整備基本計画 (案)



目次

第1章 はじめに

1-1 背景と目的	・・・ 2
1-2 市街地形成の変遷	・・・ 3
1-3 対象区域	・・・ 4
1-4 上位計画等との関連	・・・ 5

第2章 現状と方向性

2-1 公共交通から見た広域特性	・・・ 7
2-2 交通環境から見た広域特性	・・・ 8
2-3 中心市街地の機能と人の流れ	・・・ 9
2-4 両駅前周辺の特性と課題	・・・ 10
2-5 市民・駅利用者のニーズ	・・・ 11
2-6 現状と方向性のまとめ	・・・ 12

第3章 整備方針

3-1 駅前周辺に求められる機能	・・・ 14
3-2 整備基本方針	・・・ 15
3-3 J R 茨木駅西口駅前周辺整備イメージ	・・・ 19
3-4 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備イメージ	・・・ 21

第4章 今後の進め方

4-1 J R 茨木駅西口駅前周辺整備の進め方	・・・ 24
4-2 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備の進め方	・・・ 25
4-3 エリアマネジメント体制の構築・活動の展開	・・・ 26

参考資料

参-1 用途地域	・・・ 29
参-2 バス路線図	・・・ 30
参-3 社寺・商店街・公共施設等	・・・ 31
参-4 都市機能誘導施策	・・・ 32

< J R 茨木駅西口駅前周辺整備 >

参-5 経過	・・・ 33
参-6 課題	・・・ 34
参-7 取組み	・・・ 35

< 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備 >

参-8 経過	・・・ 39
参-9 課題	・・・ 40
参-10 取組み	・・・ 41

第1章 はじめに

第1章 はじめに

1-1 背景と目的

茨木市の都市拠点であるＪＲ茨木駅・阪急茨木市駅周辺は古くから交通の要衝として栄え、中心市街地の玄関口として交通や商業等の機能を支えており、今日まで日常的に多くの市民が利用しています。現在の両駅西口は、昭和45年（1970年）開催の万国博覧会（大阪万博）にあわせて西口駅前広場等の都市基盤が整備されましたが、整備から50年以上が経過し、駅前施設の老朽化や社会・経済情勢の変化により、形態や機能の面において今日的なニーズとの不整合が生まれ、安全で円滑な交通機能や魅力ある空間の不足といった、様々な課題を抱えています。

このような課題に対して、阪急茨木市駅西口については、駅前ビル（ソシオ茨木）の建替えに向け、事業協力者と共に、今後、具体的な計画策定に取り組んでいくこととなっており、また、ＪＲ茨木駅西口については、かねてから再整備に向けた取組みを進めていますが、事業化に向けた権利者組織を立ち上げるなど、まずは権利者の意識醸成を図りながら、事業の具体化を検討していく必要があります。

両駅前の再整備を推進していくにあたっては、2コア1パーク&モールの中心市街地の都市構造を活かし、魅力あるまちなかの形成に向けて、コアとしての両駅前が目指すべき姿を明確にし、権利者（事業者）と周辺商店街など地域の皆さまと連携を図ると共に、多くの市民の皆さまからの共感を得ることが重要です。

一方、昨今の物価高騰で建設業界を取巻く環境も厳しさを増しており、事業の採算性への考慮も必要であることから、両駅前の目指すべき姿については、今後、具体的な事業化を検討するに際して、柔軟性を持たせる内容にする必要があります。

このような背景を踏まえ、本基本計画は、中心市街地全体を俯瞰的に捉えたうえで、両駅前に求められる機能などを整理し、整備の基本方針や整備イメージなど、「まちづくりの方向性」と「事業の進め方」を示すものとし、今後、両駅前において、各事業者が具体的な計画策定を行う際の指針として活用していくものとします。



ＪＲ茨木駅西口駅前周辺



阪急茨木市駅西口駅前周辺

第1章 はじめに

1-2 市街地形成の変遷

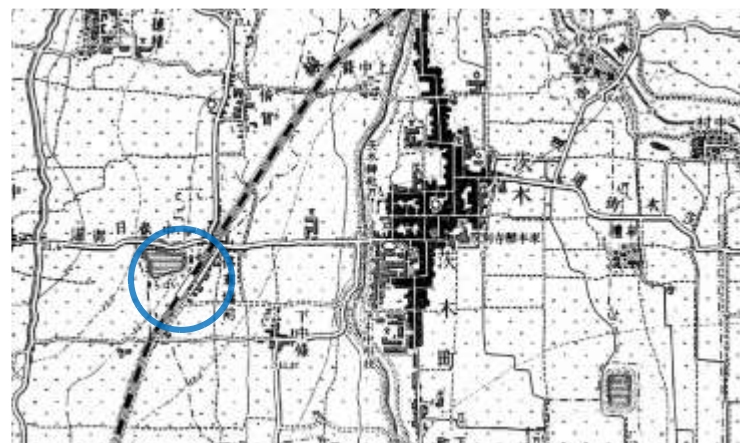
茨木市の中心市街地には、元茨木川緑地の東側に茨木城を核とする城下町が存在し、江戸時代初期の一国一城令により廃城となつてからは、城下町一帯が「在郷町」となり、酒造業や人力搾油業が行われていました。明治9年に国鉄茨木駅（現在のＪＲ茨木駅）、昭和3年には茨木町駅（現在の阪急茨木市駅）が開業し、両駅に挟まれた地区を中心に、現在の都市構造の原型が形成されました。また、大阪万博開催にあわせて、国鉄茨木駅西口と阪急茨木市駅西口の駅前広場の整備や中央通りが拡幅されるなど、中心市街地のインフラ整備が進められました。

江戸中期（在郷町）



茨木之地図（享保年間）

明治期（ＪＲ開通頃）



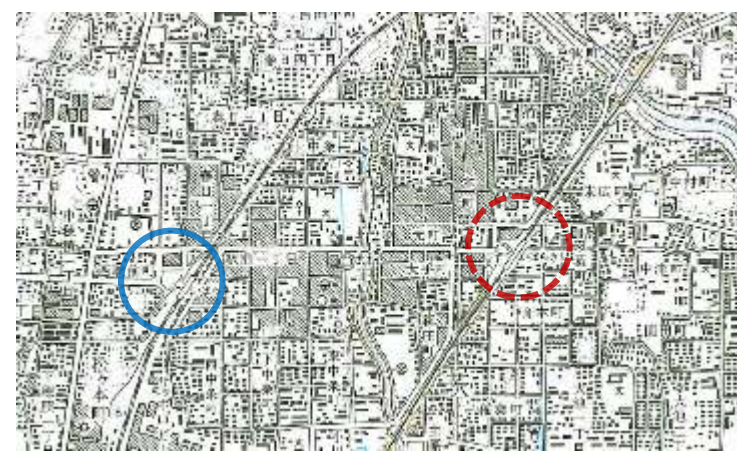
1/20000茨木 明治41年測図・明治44.10.30発行 (1908年)

昭和前期（阪急開通頃）



1/25000吹田 昭和4年修正・昭和7.11.30発行 (1929年)

昭和後期（大阪万博開催後）



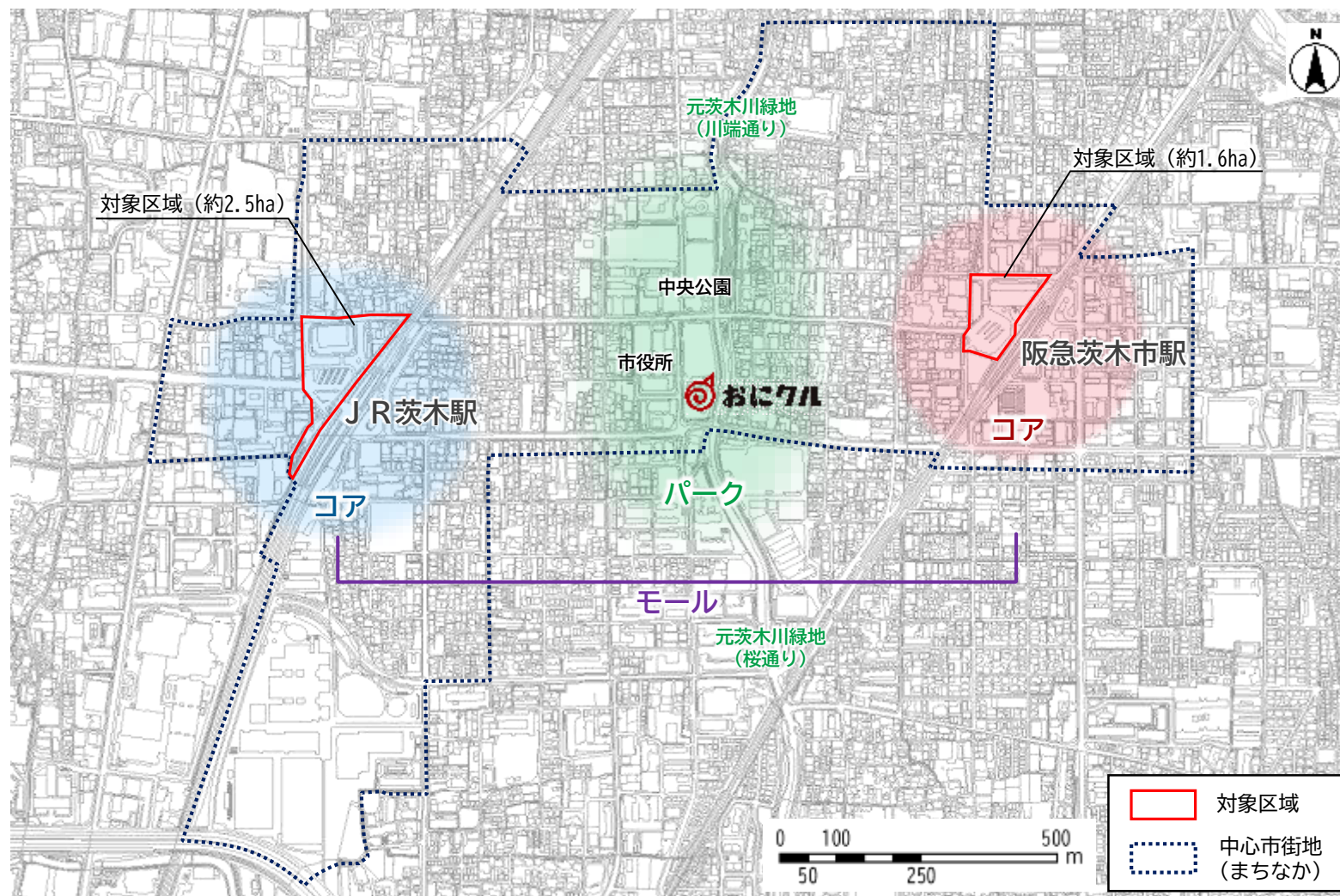
1 25000吹田 昭和50年修正・昭和51.11.30発行(1976年)

第1章 はじめに

1-3 対象区域

本基本計画の対象区域について、ＪＲ茨木駅西口駅前周辺は、駅前ビル、駅前広場、北東及び南西の密集市街地を含む区域、阪急茨木市駅西口駅前周辺は、駅前ビル及び駅前広場を含む区域とします。

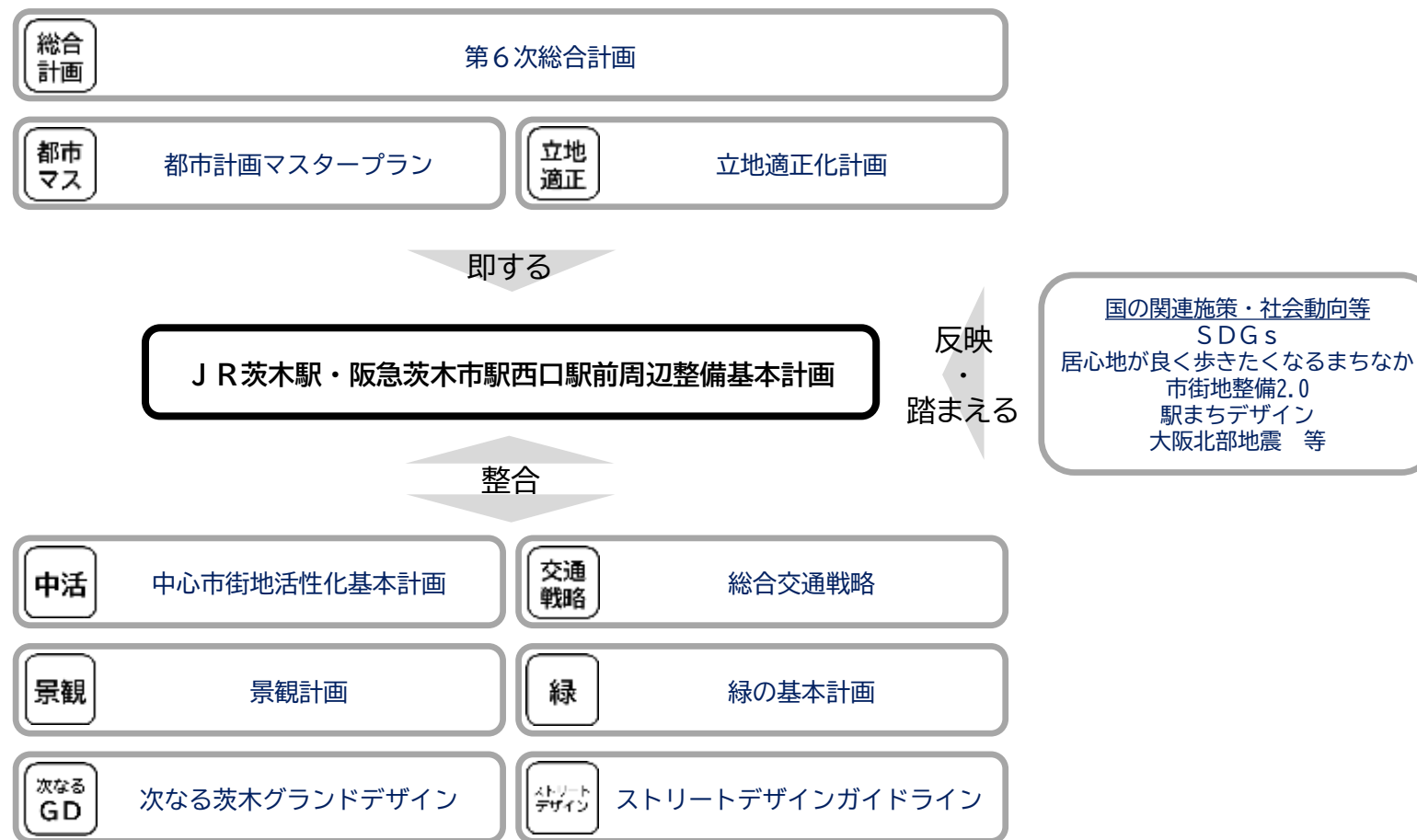
中心市街地には、東西に両駅が、また、その中間地点には市役所、おにクル、中央公園、そこから南北へ伸びる元茨木川緑地が位置し、茨木市では両駅周辺のエリアを「コア」、中央のエリアを「パーク」、それらを結ぶストリートや商店街を「モール」として位置づけ、『２コア１パーク＆モール』の都市構造を活かしたまちづくりを進めています。



第1章 はじめに

1-4 上位計画等との関連

本基本計画は、上位計画や関連計画の内容に即する、又は整合するよう策定します。



上位計画等における中心市街地・両駅前周辺のまちづくりの位置づけ

- ・ 中心市街地全体を面的な視点で捉え、多様な都市機能の充実を図ります。
- ・ 歩行者優先の道路空間や公共空間の活用などにより、中心市街地の回遊性を高め、魅力ある空間の創出を図ります。
- ・ 両駅前周辺を茨木市の玄関口として交通結節点の機能強化を図ります。

第 2 章 現状と方向性

第2章 現状と方向性

2-1 公共交通から見た広域特性

J R 茨木駅は快速電車の停車駅であり、市内で最も乗降人数が多く、新幹線が発着する新大阪駅や京都駅へのアクセスにも優れ、東京や博多方面など広い地域とつながっています。一方、阪急茨木市駅は特急電車の停車駅であり、市内でJ R 茨木駅に次いで乗降人数が多く、京都河原町や大阪梅田につながっています。

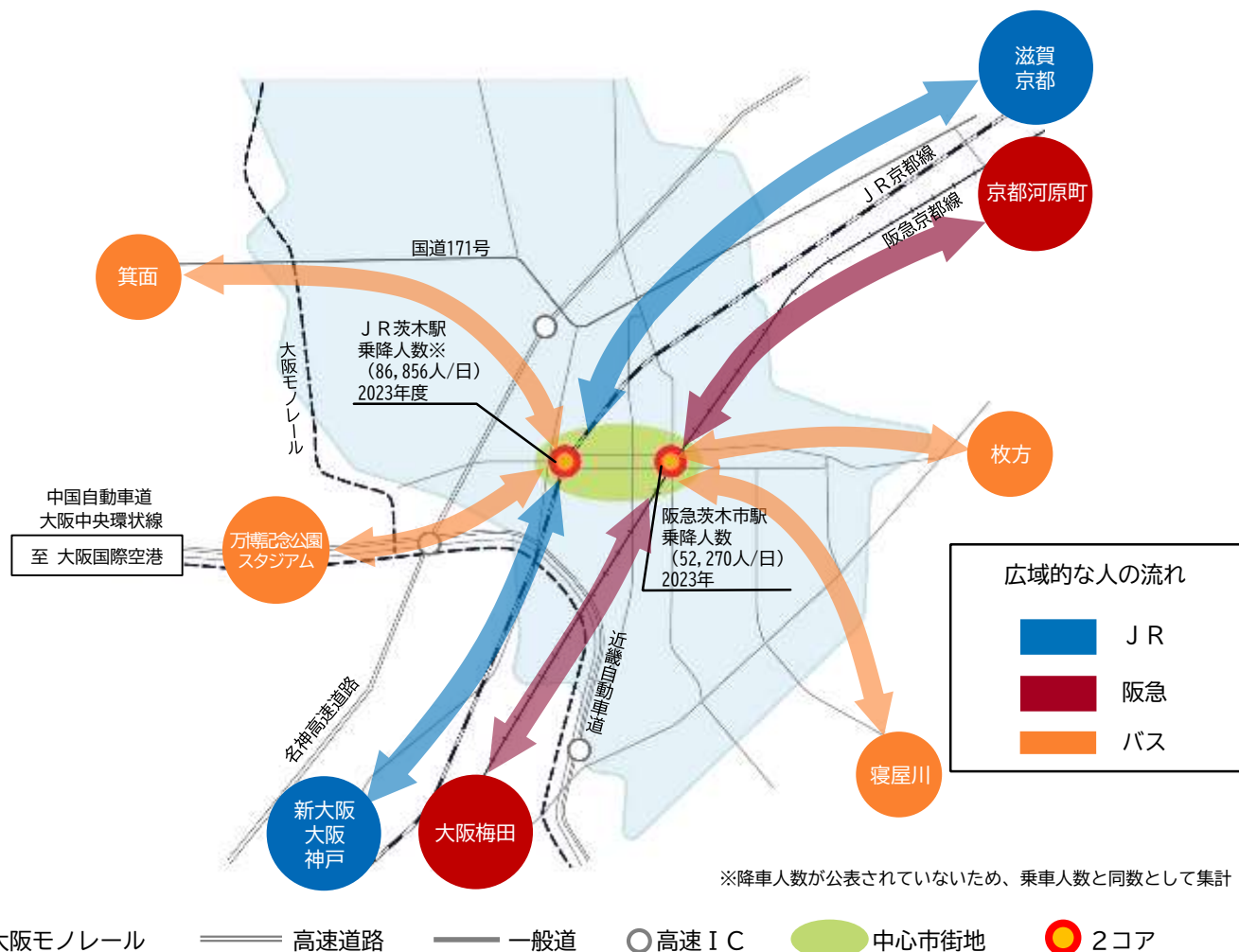
また、路線バスについて、J R 茨木駅は箕面方面や万博記念公園及び吹田スタジアムと、阪急茨木市駅は寝屋川や枚方方面など、多方面との発着点となっています。

このように、J R 茨木駅と阪急茨木市駅は、交通結節点として多くの人が往来し、広域とつながる拠点になっています。

■路線バスの発着便数			
◇J R 茨木駅			
(西口)	平日849便	土曜日689便	日祝673便
(東口)	平日262便	土曜日195便	日祝195便
◇阪急茨木市駅			
(西口)	平日754便	土曜日612便	日祝586便
(南口)	平日263便	土曜日195便	日祝195便
(東口)	平日48便	土曜日40便	日祝40便

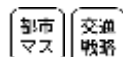
■J R 茨木駅までの所要時間	
◇大阪	約11分
◇新大阪	約7分
◇京都	約20分
◇大津	約31分
◇三ノ宮	約37分
◇東京	約2時間50分
◇博多	約2時間50分
■阪急茨木市駅までの所要時間	
◇大阪梅田	約16分
◇京都河原町	約25分
※最短時間を示すものです。	

令和6年9月時点



第2章 現状と方向性

2-2 交通環境から見た広域特性



現在、中心市街地には多くの通過交通が流入している状況ですが、将来的には都市計画道路茨木寝屋川線の整備による環状道路体系の構築等により、通過交通の流入抑制を図ります。



第2章 現状と方向性

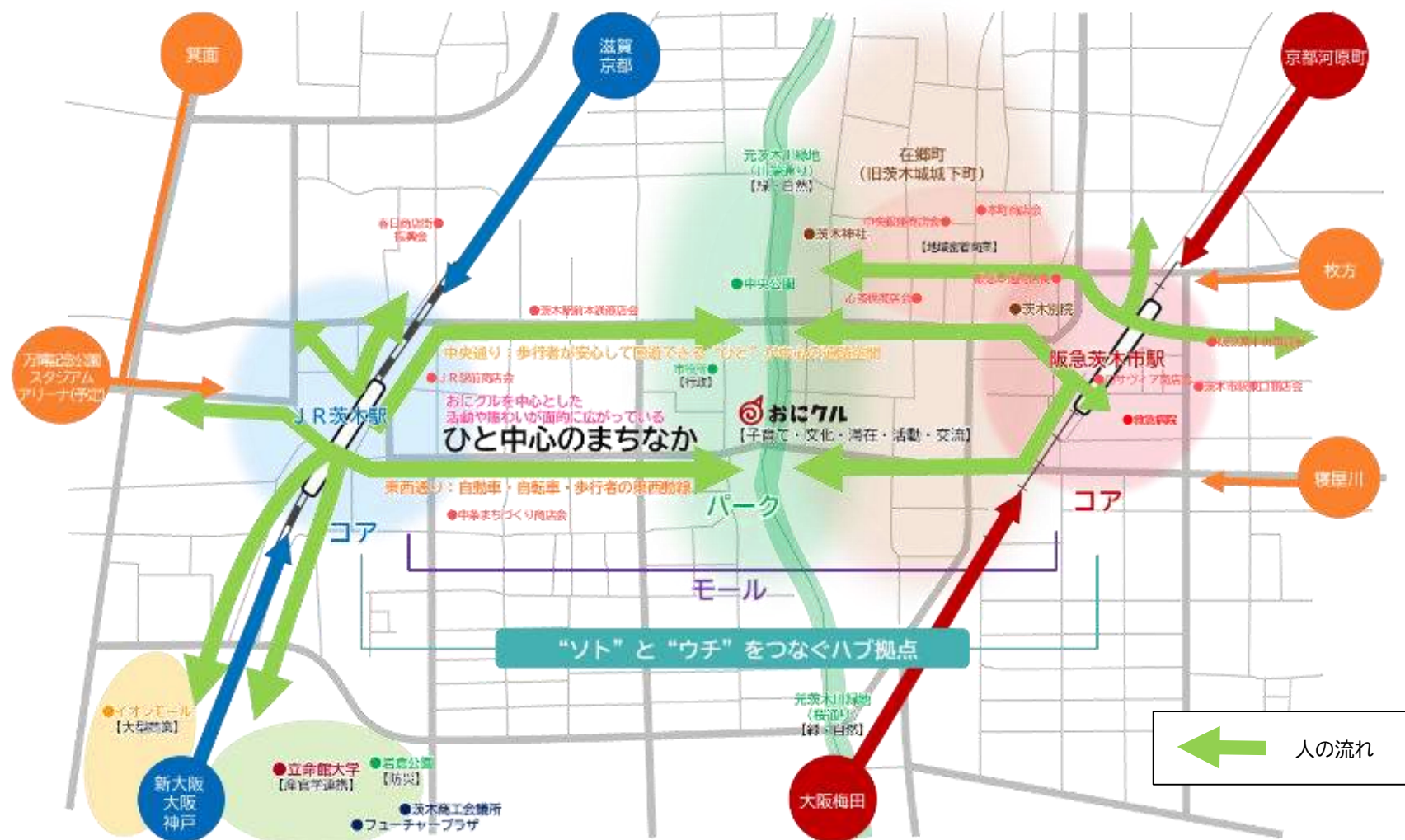
2-3 中心市街地の機能と人の流れ

都市
マス
立地
適正
公共
GD
中活

中心市街地においては、おにクルを中心とした「パーク」での活動や賑わいが「モール」を通じて中心市街地全体に広がり、活動が景色となる「ひと中心のまちなか」を目指しています。

広域や市内各エリアを「ソト」、中心市街地を表すまちなかを「ウチ」と定義し、JR・阪急両駅前周辺が、広域や市内各エリアからの人の流れや賑わいをまちなかへつなげていく機能を持つハブ拠点としての役割を担い、「コア（両駅周辺）」からパーク及び周辺地域への動線やつながりをイメージしながら両駅西口駅前周辺の再整備に取り組みます。

また、中心市街地及び駅周辺における既存機能を踏まえながら、中心市街地全体で求められる機能を充足させていきます。



第2章 現状と方向性

2-4 両駅前周辺の特性と課題

両駅前周辺の特性と課題を整理しました。

J R 茨木駅周辺の特性

- ・ 大阪万博を契機に栄えてきた歴史的背景
- ・ 近隣に大学が立地
- ・ 万博記念公園、吹田スタジアム、アリーナ（開業予定）に近い
- ・ 洗練されたデザインのいばらきスカイパレット
- ・ 新大阪駅から新幹線等を利用して全国へアクセス

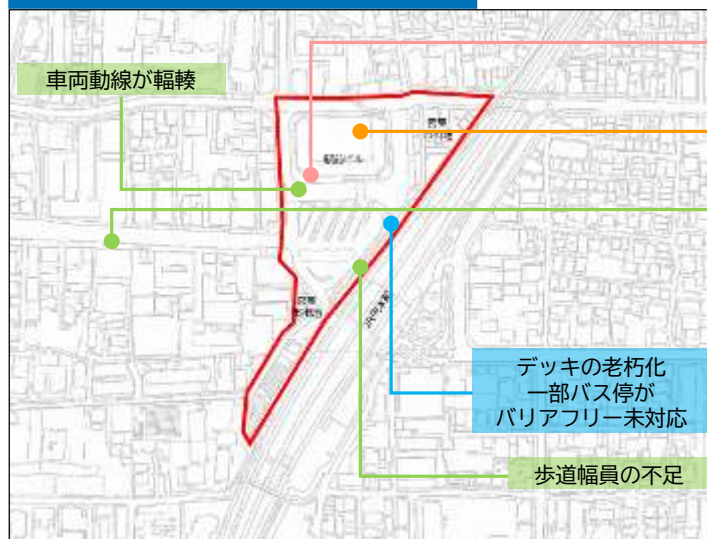
先進的で活気に満ちたイメージ

阪急茨木市駅周辺の特性

- ・ 在郷町（旧茨木城城下町）として栄えてきた歴史的背景
- ・ 周辺に多くの商店街が立地する商業の中心地
- ・ 歴史ある寺社仏閣が点在
- ・ 京都河原町・大阪梅田と直通

地域に根差し、歴史と賑わいが感じられるイメージ

J R 茨木駅西口駅前周辺の課題



阪急茨木市駅西口駅前周辺の課題



両駅前周辺の課題

駅前にふさわしい魅力的な滞留空間の不足

駅前施設の魅力低下

送迎バス等の停車・乗降

車両動線が輻輳

歩きたくなる空間の不足

災害に備えた機能の不足

第2章 現状と方向性

2-5 市民・駅利用者のニーズ

両駅前周辺に対する市民や駅利用者のニーズを把握するため、アンケート調査やワークショップ、社会実験を行いました。

JR茨木駅西口駅前周辺

◆アンケート調査（令和3年12月実施 回答者数：735人）

Q13 JR茨木駅西口周辺の駅整備を促進するため、優先して取組むべきと思うものは何ですか？（5つまで）

- 1位「老朽化した建物を駅小広場の整備」482人／735人
2位「鉄道に通行できる歩道の整備」432人／735人
3位「駅前広場の整頓整備」389人／735人

Q14 何があるといいか？JR茨木駅西口周辺を
利用したい・活動したいと思いませんか？（5つまで）

- 1位「カフェやレストランなどの飲食店舗」549人／735人
2位「日用品や生活雑貨を購入できる商業施設」398人／735人
3位「駅のある広場の整頓整備」276人／735人

Q15 より魅力的で住んでみたい・住み続けたいまちになるため、
JR茨木駅西口周辺はどのようなまちを目指すべきだと思いますか？（3つまで）

- 1位「駅周辺で生活利便性が向上するまち」394人／735人
2位「駅を中心に周辺地域との回遊性がある歩きやすくなるまち」389人／735人
3位「鉄道やバスなどの公共交通を利用しやすいまち」327人／735人

◆まちづくりワークショップ（令和4年3月～9月 全6回）

確認されたキーワード 豊かな暮らし/つながり(ひと・地域)/交流/文化的/みどり豊か

◆社会実験「おおぞらリビング いばソト」（令和5年11月）

Q. 将来、駅前に芝生などの広場空間があれば
利用したいと思いますか。

「利用したい」が93%、「利用したくない」は0%

自由記述

- ・バス待ちや時間をつぶしたいと思う場所が無い
- ・もっと歩行者目線に立った交通体系を考えてほしい
- ・人と待ち合わせが出来る場所
- ・駅の行き来で立ち寄ることができる商業施設
- ・駅前ターミナルの立地を活かした世代間交流スペース
- ・人がくつろげる、憩いの場所や広場兼防災広場的なものがあると利用したい
- ・魅力かつ回遊性のある街になればと望む

Q. 駅前が「こんなふうになったらいいな」

- ・バス待ちの20～40分楽しめる場所
- ・心地よく滞在できて、人と出会える場所
- ・緑を増やしてほしい

阪急茨木市駅西口駅前周辺

◆アンケート調査（令和4年8月実施 回答者数：1,864人）

Q. 阪急茨木市駅西口の再整備に特に期待することを教えてください。（最大3つまで）



自由記述

- ・待ち合わせ時など駅前のベンチで気持ちよくコーヒーが飲めるような雰囲気
- ・文化・芸術が身近にあり、マルシェなど人が集う場所
- ・バスの待ち時間を過ごすため、1階にカフェと本屋さん
- ・リモートワークスペース、ミーティングスペース、勉強できるスペースがほしい
- ・歩道が狭く、凸凹も多いので自転車やベビーカー、車いすが通りにくい

◆まちづくり学集会（平成30年8月～令和2年6月 全10回）

将来に向けたまちへの想い

- ・交通環境の改善により、歩行者や車両の安全性・利便性の向上
- ・休憩・多世代交流・イベント開催など、多目的に活用できる空間の創出
- ・憩いや賑わい、子育て等に必要な機能の確保
- ・歩いて楽しいまちづくりの演出など、全体のマネジメントによる回遊性の向上
- ・魅力的・個性的な店舗が多い商店街などがあるまち
- ・多様な活動ができる場所があり、まちと人、人と人、人と活動がつながるまち

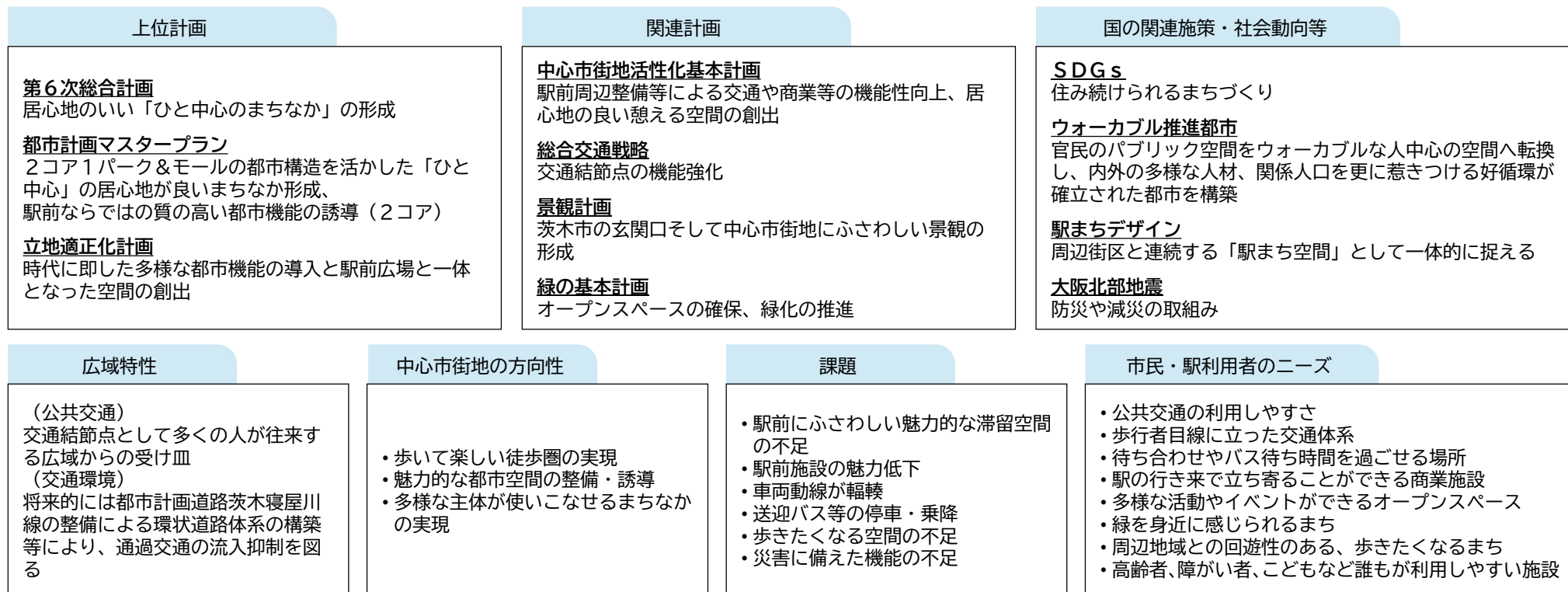
- ・公共交通の利用しやすさ
- ・歩行者目線に立った交通体系
- ・待ち合わせやバスの待ち時間を過ごせる場所
- ・駅の行き来で立ち寄ることができる商業施設

- ・多様な活動やイベントができるオープンスペース
- ・緑を感じられるまち
- ・周辺地域との回遊性のある、歩きやすくなるまち
- ・高齢者、障がい者、子どもなど誰もが利用しやすい施設

第2章 現状と方向性

2-6 現状と方向性のまとめ

中心市街地・両駅前周辺について、上位計画等における位置づけ、広域特性、中心市街地の方向性、両駅前周辺の特性と課題、市民や駅利用者のニーズについてまとめました。



<ハブ拠点である両駅前に求められること>

魅力・賑わいのある駅前空間

ニーズに沿った都市機能

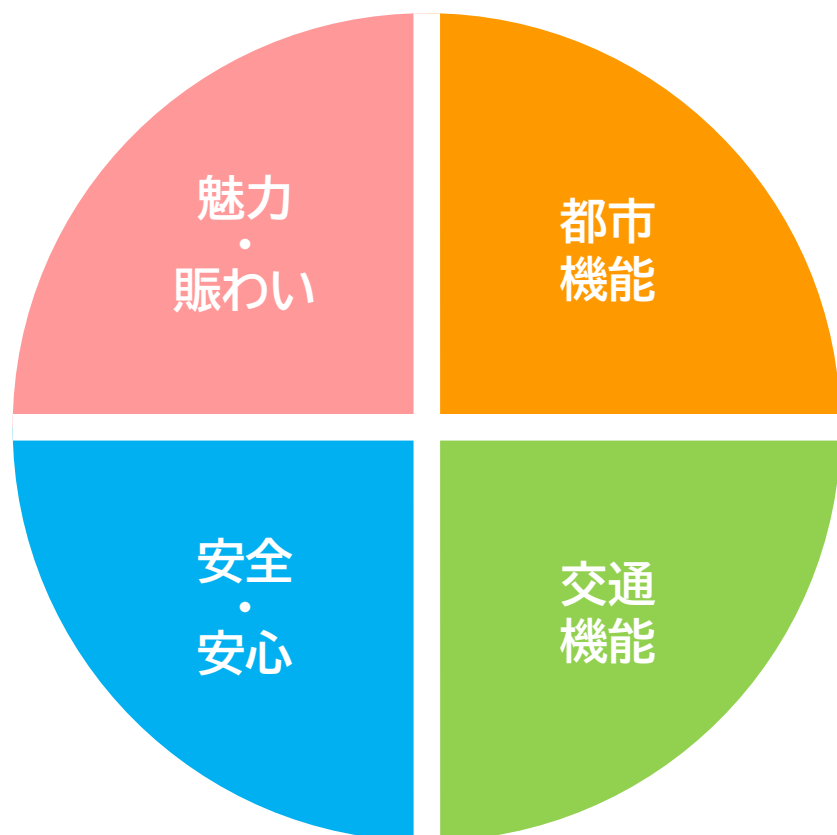
ひと中心で使いやすい交通環境

だれにでも安全・安心な駅前空間

第3章 整備方針

3-1 駅前周辺に求められる機能

第1章および第2章で整理した内容から、両駅前周辺に求められる4つの機能をまとめました。



魅力・賑わい

- ・魅力的な賑わい空間の創出
- ・駅前にふさわしい都市景観づくり

都市機能

- ・立地特性を踏まえた都市機能の導入
- ・市民ニーズを踏まえた都市機能の導入
- ・持続性のある商業機能

交通機能

- ・歩きやすい空間整備
- ・公共交通の利便性向上
- ・分かりやすい案内サインの整備

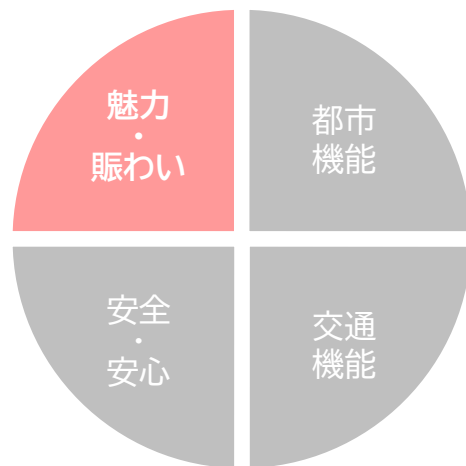
安全・安心

- ・駅前周辺の再生
- ・防災機能の向上
- ・だれもが使いやすい駅前環境の整備

第3章 整備方針

3-2 整備基本方針（魅力・賑わい）

第1章および第2章で整理した内容から、整備基本方針をまとめました。



魅力的な賑わい空間の創出

- ・ 多様な活動の場となる広場を創出します。
- ・ 人々が滞留できる魅力的な空間を効果的に配置します。
- ・ 建物の低層部において、賑わいが滲み出す空間の創出を図ります。
- ・ 駅や駅前広場、民間施設等の機能が調和した空間の創出を図ります。

駅前にふさわしい都市景観づくり

- ・ 新たな茨木の顔となる景観の形成を図ります。
- ・ 魅力的な夜間景観の形成を図ります。
- ・ 緑が感じられる空間の創出を図ります。

魅力的な賑わい空間の創出・駅前にふさわしい都市景観づくり

広場を囲む賑わい空間



岡山県倉敷市：あちてらす倉敷

緑が感じられる滞留空間



大阪府大阪市：梅田1丁目地区

内部の賑わいが外部からも感じられる沿道



大阪府大阪市：淀屋橋odona(大阪市提供)

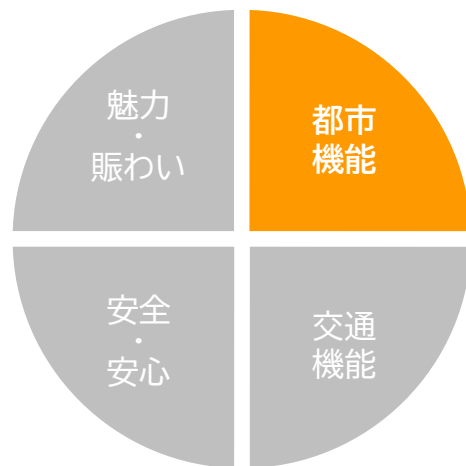
柔らかく暖かみのある灯り



福岡県柳川市：西鉄柳川駅（柳川市提供）

第3章 整備方針

3-2 整備基本方針（都市機能）



立地特性を踏まえた都市機能の導入

- ・ 中心市街地の既存機能や住機能とのバランスを踏まえ、必要な都市機能の導入を図ります。

市民ニーズを踏まえた都市機能の導入

- ・ 日常生活を豊かにする生活利便施設や居心地が良い飲食店舗等の導入を図ります。

持続性のある商業機能

- ・ 商業機能の更新が図られる仕組み等の構築を促します。

立地特性を踏まえた都市機能の導入・市民ニーズを踏まえた都市機能の導入

出勤時や一息つく時間



友人や家族と過ごす時間



帰宅時に日用品や夕食用の食材を購入

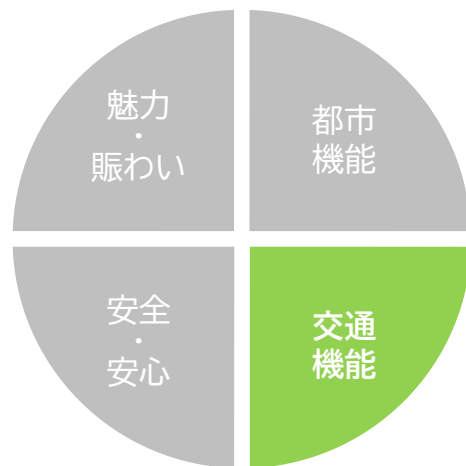


様々な働き方、暮らし方



第3章 整備方針

3-2 整備基本方針（交通機能）



歩きやすい空間整備

- ・駅前空間と周辺市街地の回遊性を高める快適な歩行者動線を整備します。
- ・ゆとりある歩行者空間を確保します。

公共交通の利便性向上

- ・路線バス・タクシー・一般車の交通機能を再配置します。
- ・車両動線の整理や交差点の改良等を行います。
- ・快適な利用環境を確保します。

分かりやすい案内サインの整備

- ・公共交通の乗換え案内や、まちの情報発信など、案内施設を整備します。

歩きやすい空間整備・公共交通の利便性向上

公共交通と一般車動線の分離
快適に移動できる歩行者空間の確保



兵庫県姫路市：姫路駅北駅前広場

快適な利用環境（待合空間）



福井県福井市：福井駅西口駅前広場

分かりやすい案内サインの整備

公共交通の乗換えや施設案内



東京都渋谷区：渋谷駅周辺

山口県山口市：新山口駅

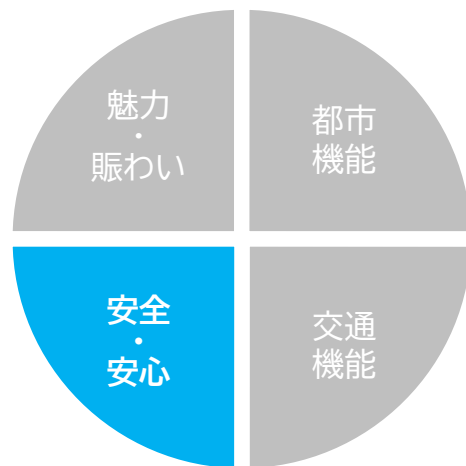
まちの案内や情報発信



国資料：2040年、道路の景色が変わる
～人々の幸せにつながる道路～

第3章 整備方針

3-2 整備基本方針（安全・安心）



駅前周辺の再生

- ・老朽建物・旧耐震建物の解消を図ります。
- ・駅前広場再編とあわせて、デッキ等の老朽化したインフラを更新します。

防災機能の向上

- ・災害時における帰宅困難者等の一時避難場所等を確保します。

だれもが使いやすい駅前環境の整備

- ・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたバリアフリー化を実現します。

駅前周辺の再生

老朽化した駅前ビルとデッキの更新



大阪府堺市：ジョルノ

防災機能の向上

災害時には一時避難場所になる広場

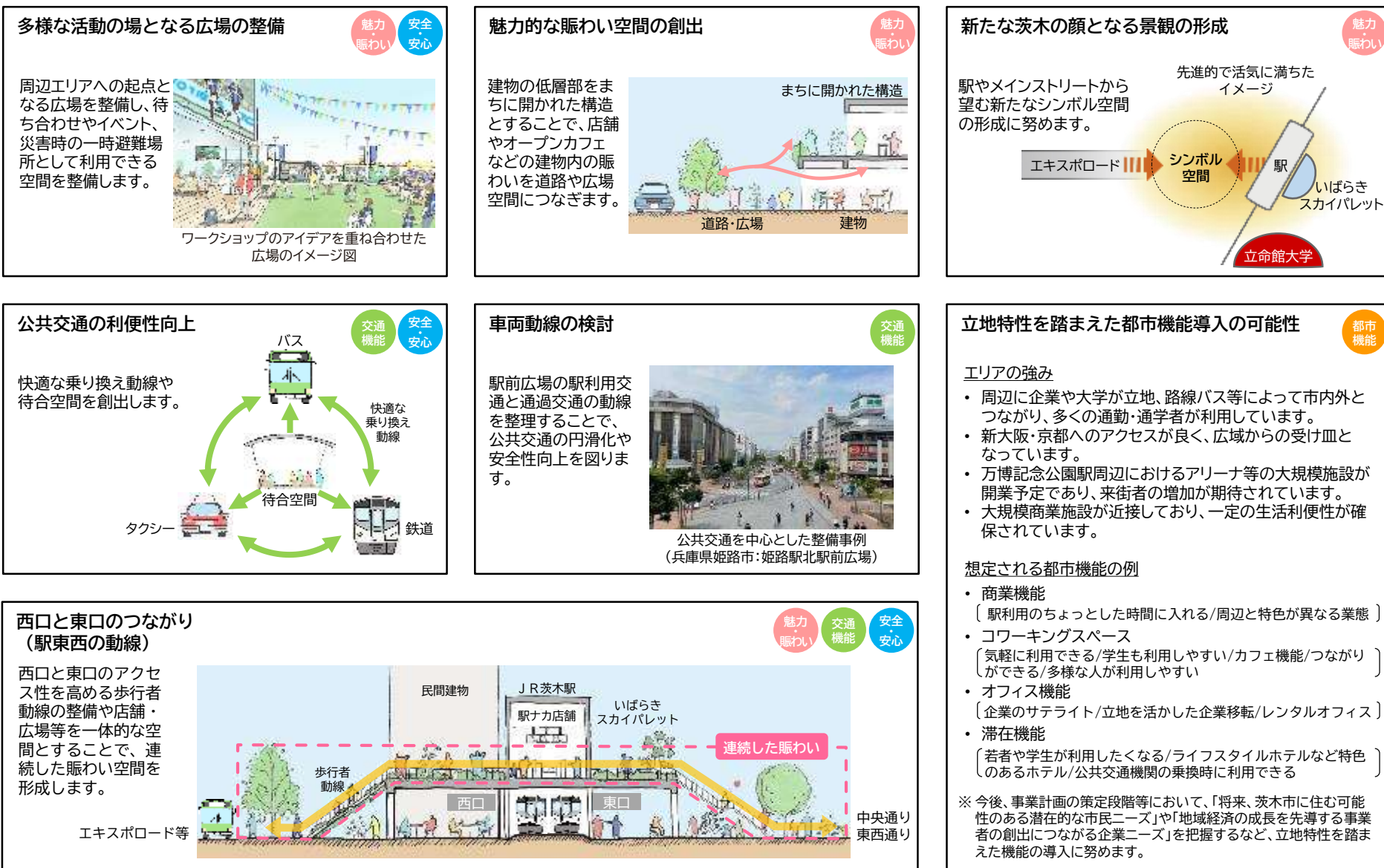


熊本県熊本市：熊本駅東口駅前広場

第3章 整備方針

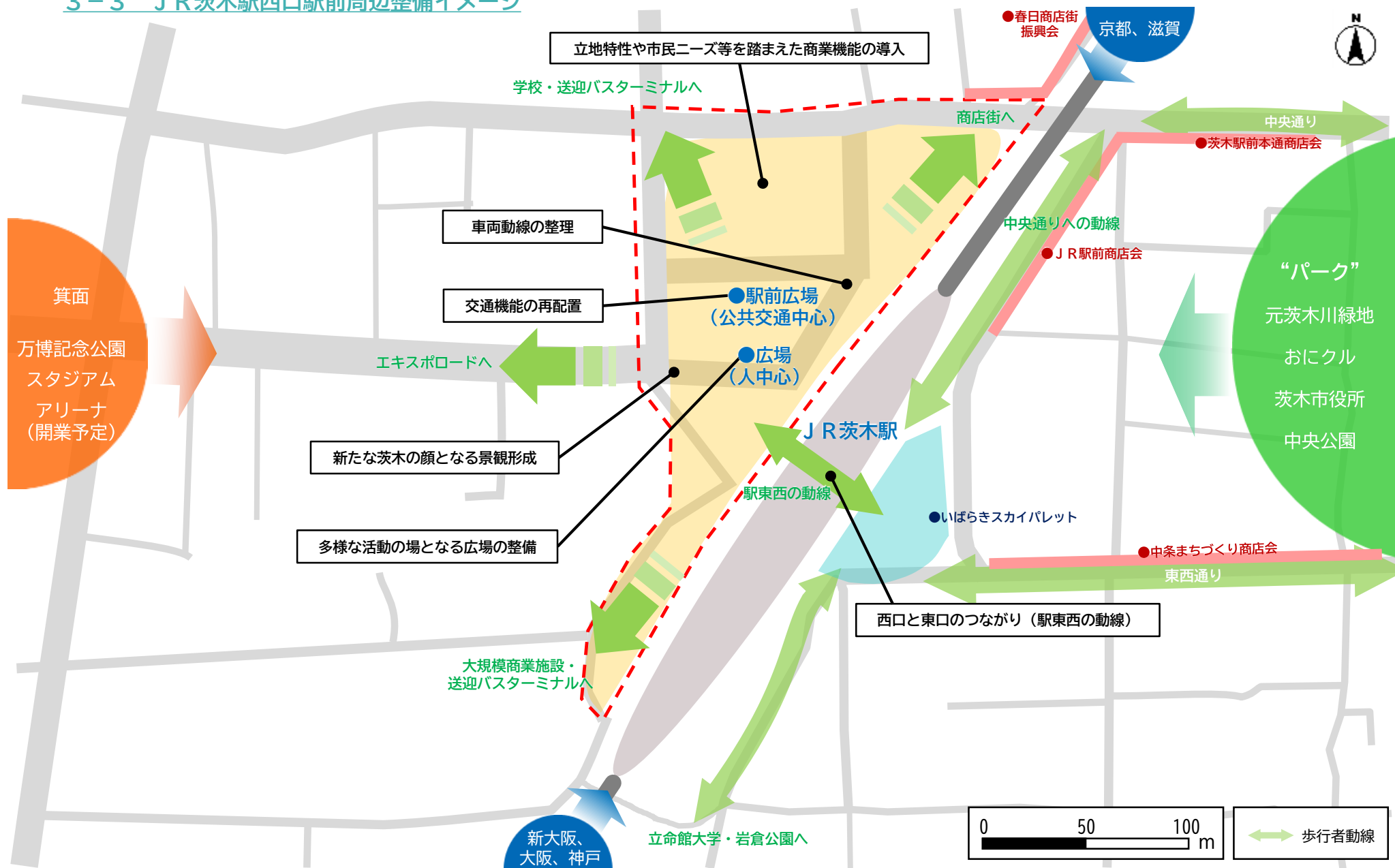
3-3 J R茨木駅西口駅前周辺整備イメージ

整備基本方針を踏まえ、J R茨木駅西口駅前周辺における整備イメージを整理しました。



第3章 整備方針

3-3 JR茨木駅西口駅前周辺整備イメージ



第3章 整備方針

3-4 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備イメージ

整備基本方針を踏まえ、阪急茨木市駅西口駅前周辺における整備イメージを整理しました。

魅力的な賑わい空間の創出

- 多様な活動・滞在の場となるオープンスペースを設けます。
- 駅前広場に面した建物の低層部は、外向き店舗から公共空間への賑わいの滲み出しが感じられる空間づくりに取り組みます。
- 民間敷地と公共用地が一体的で高質な空間となるよう、機能性・デザイン性の向上を図ります。



魅力
賑わい

新たな茨木の顔となる景観の形成

立地特性を踏まえ、建物低層部は周辺地域と調和した色合い・設えにする等、周辺に配慮したデザインとします。



地域に根差し、歴史と賑わいが感じられるイメージ

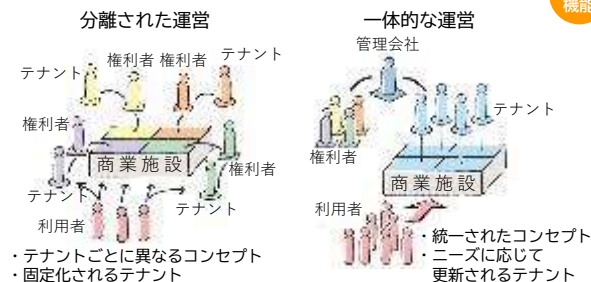
魅力
賑わい

立地特性と市民ニーズを踏まえた都市機能の導入

- 既存の周辺商店街や駅ナカの業種・業態を踏まえつつ、市民から求められる商業機能を誘導します。

持続性のある商業機能

- 個別バラバラのテナントリーシングではなく、一体的な施設運営が図られる仕組みやルールを導入を支援します。
- 時代の変化に合わせた商業機能の適切な維持・更新が可能な形態作りを推進します。



都市
機能

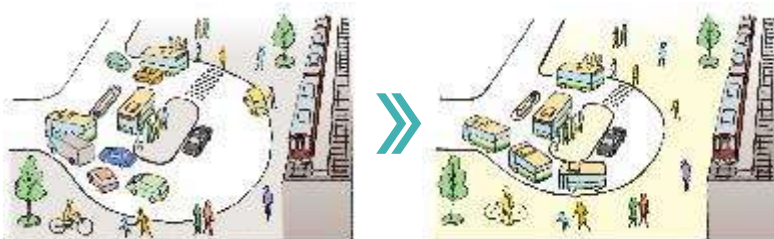
公共交通の利便性向上

- 東西の機能分担や西口駅前広場内の車両動線の整理により公共交通を中心とした駅前広場を整備します。
- 民間建物の更新にあわせて権利者等と協力しながら、駅前広場入口等の改良を行い、右折レーン滞留長の確保等により自動車交通の円滑化を図ります。

交通
機能

歩きやすい空間整備

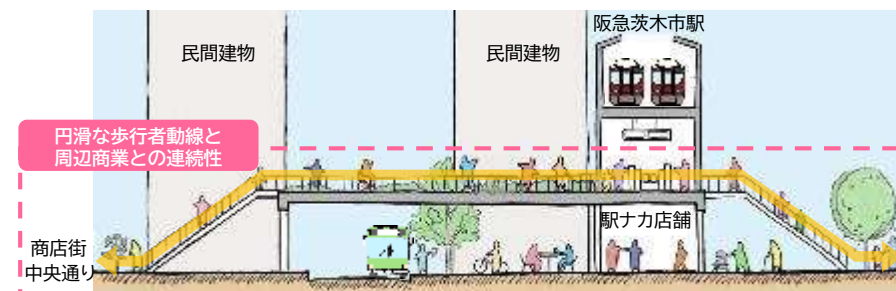
公共交通を中心とした機能を維持しながら、歩行者空間を拡幅し、歩行者等が安全・快適に往来できる駅前広場を整備します。



交通
機能
安全
安心

周辺市街地へのつながり

駅から商店街への商業の連続性とバリアフリーで円滑な歩行者動線を確保します。



魅力
賑わい
交通
機能
安全
安心

第3章 整備方針

3-4 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備イメージ



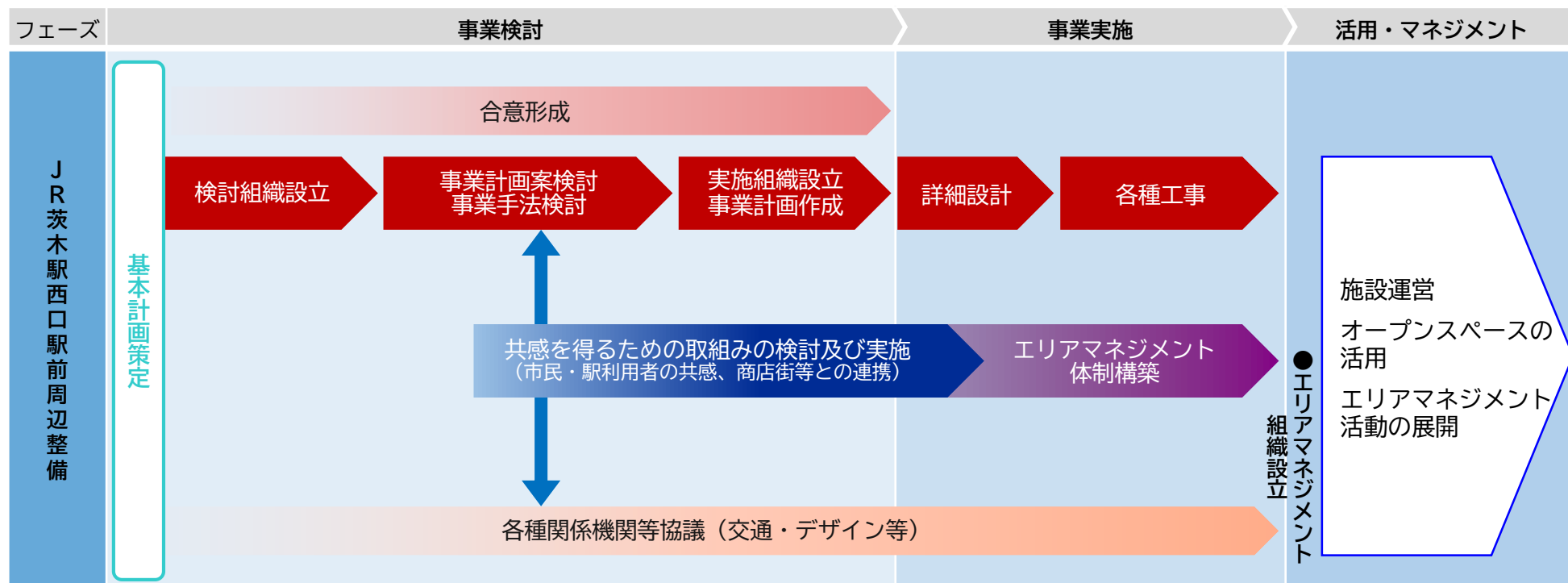
第 4 章 今後の進め方

第4章 今後の進め方

4-1 JR茨木駅西口駅前周辺整備の進め方

JR茨木駅西口駅前周辺整備を推進するためには、駅や駅前広場、民間施設等を一体的に捉え、それぞれのつながりや関係性を意識しながら各機能を配置し、空間を形成することが重要であり、本基本計画を踏まえて、権利者や民間事業者による事業計画の具体化を図るとともに、市民や関係者等とまちづくりの方針を共有しながら進めていきます。

今後は、権利者を主体とする検討組織を設立し、関係者等と連携しながら事業計画案や事業手法等の検討を行い、その後、事業を推進する実施組織の設立や事業計画を作成しつつ、権利者等の合意形成を図ります。そして、詳細設計や各種工事の実施といった事業実施段階へ進んでいきます。また、持続的なまちづくりに向けて事業計画の作成と並行しながら管理運営に関する仕組みの構築も図っていきます。これらを着実に進め、魅力ある駅前再整備の実現に取り組みます。



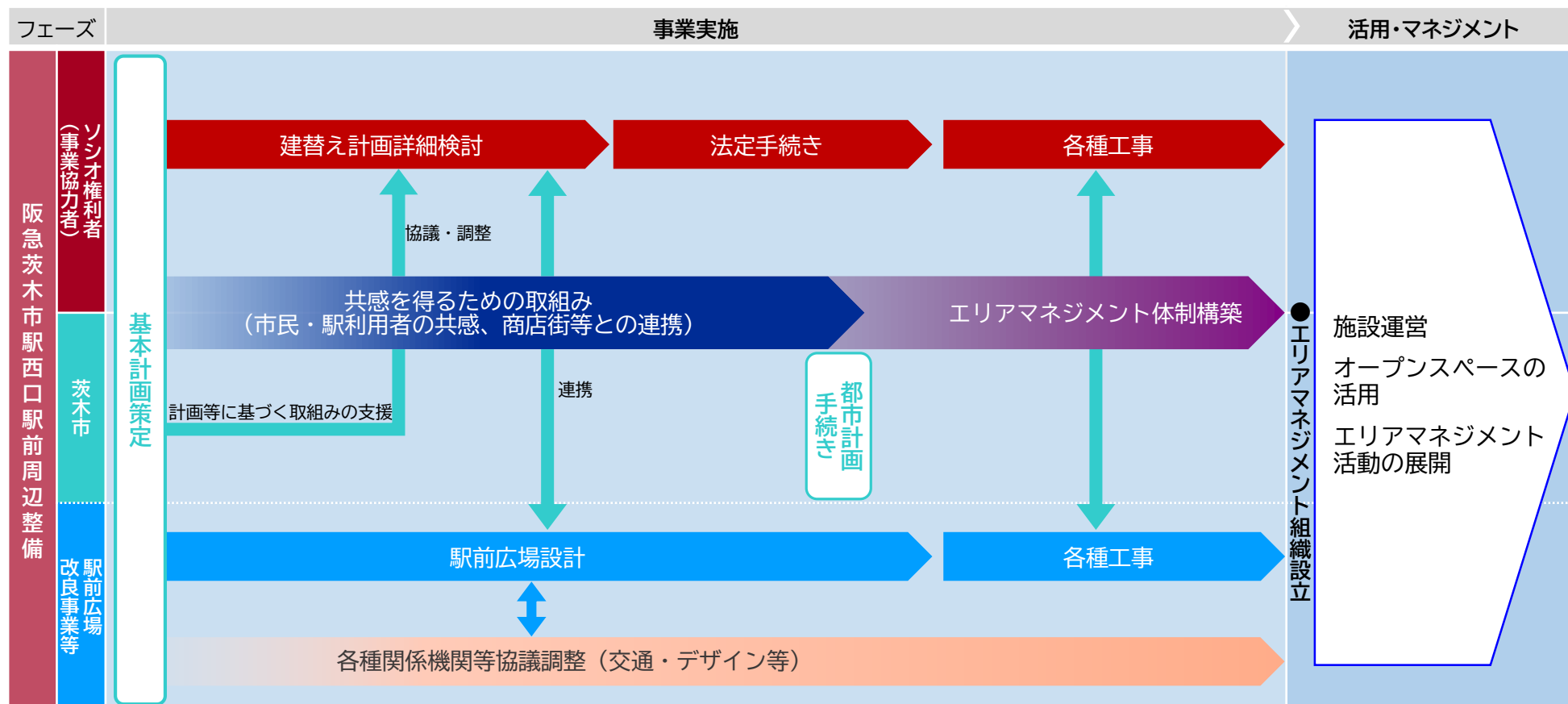
※手続きの内容や進め方は現段階における想定です。今後変更となる可能性があります。

第4章 今後の進め方

4-2 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備の進め方

本基本計画を踏まえ、市は引き続きソシオ権利者（事業協力者）と協議・調整を行うとともに、駅前広場改良事業等との連携を図っていきます。

また、再整備を推進するためには、多くの関係者から事業への共感を得ることが重要であることから、ソシオ建替え計画の検討や駅前広場設計と並行して、市民・駅利用者等に共感が広がる取組みを市とソシオ権利者（事業協力者）が協力して行い、エリアマネジメント体制の構築につなげていきます。

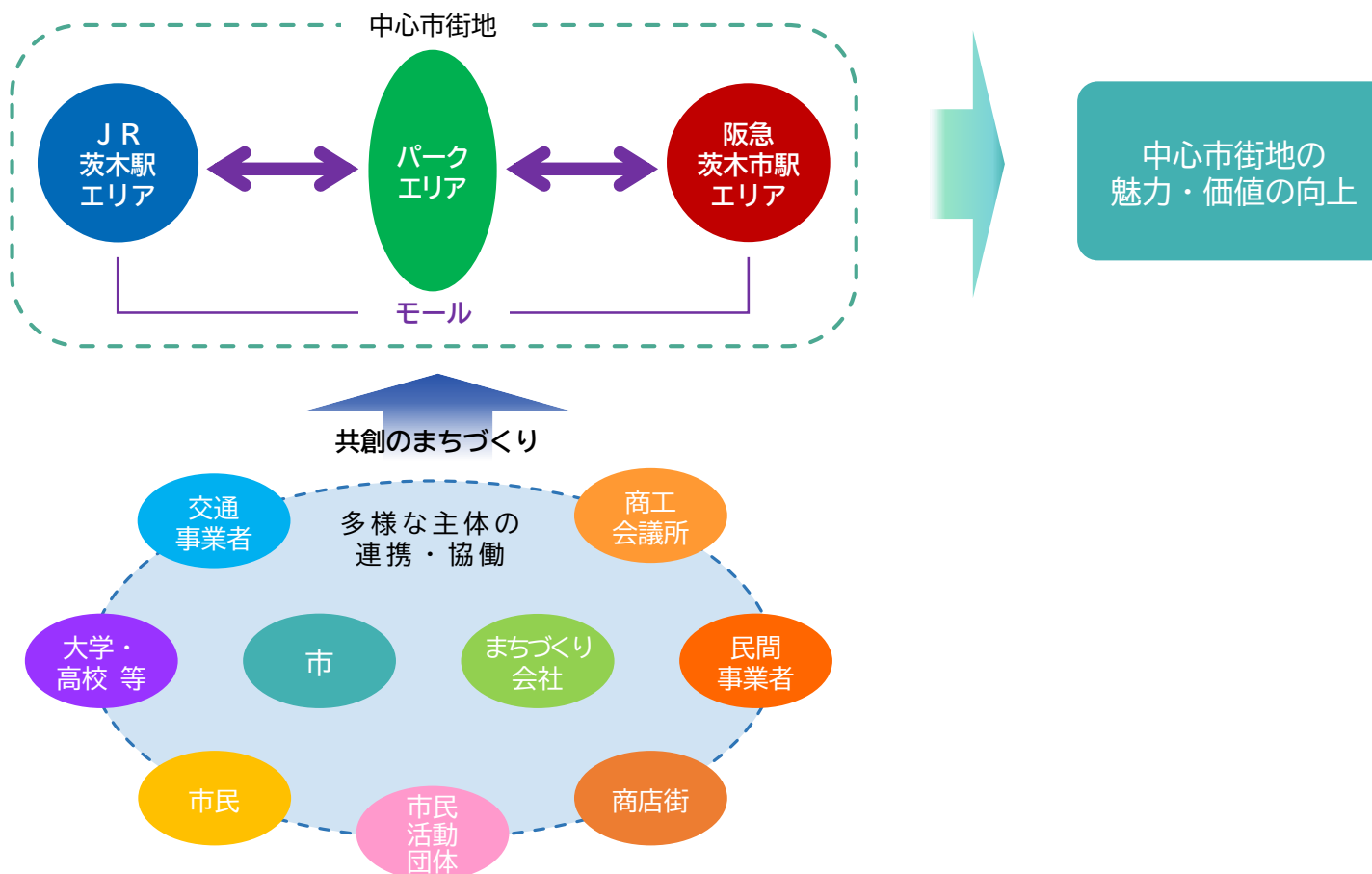


※手続きの内容や進め方は現段階における想定です。今後変更となる可能性があります。

4-3 エリアマネジメント体制の構築・活動の展開

駅前の魅力や価値を育むためには、整備後の施設や周辺エリアを含め、交流・賑わいの拠点として公共空間等を利活用し、イベント・情報発信等の各種活動を継続して実施することが重要です。そのためには、市民、市民活動団体、商工会議所、民間事業者、商店街、大学・高校等、まちづくり会社や交通事業者など、多様な主体の連携・協働が必要であり、これらの関係者と調整しエリアマネジメント活動を展開する組織として、民間事業者、施設所有者や入居テナントなど、整備後の施設等の主要関係者を中心とする体制の構築を、まずは各駅前で検討を進め、市はその支援に努めます。また、将来的には両駅前周辺を含む中心市街地全体の連携を目指し、共創のまちづくりに取り組みます。

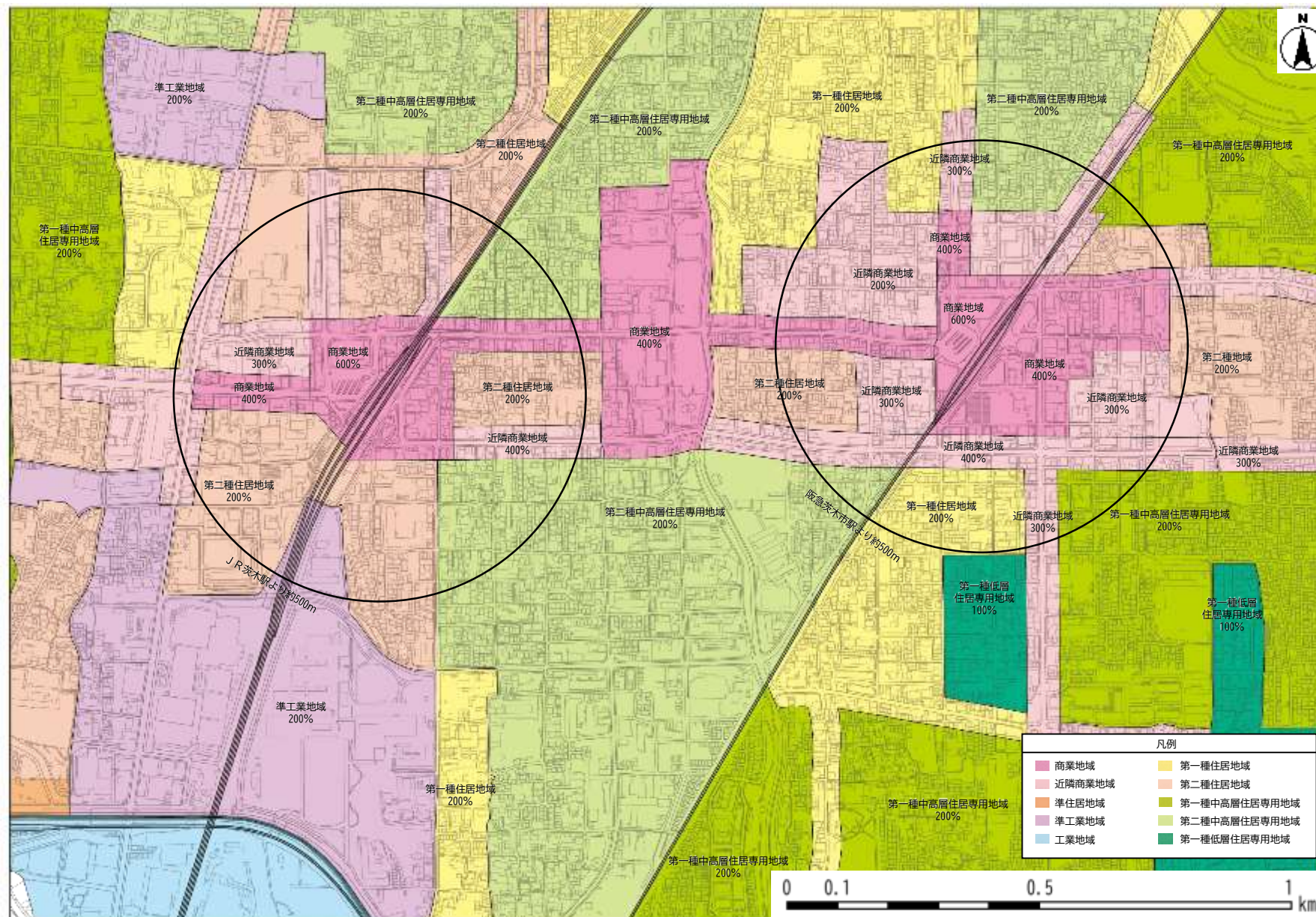
エリアマネジメント活動の展開イメージ



m e m o

参考資料

参-1 用途地域



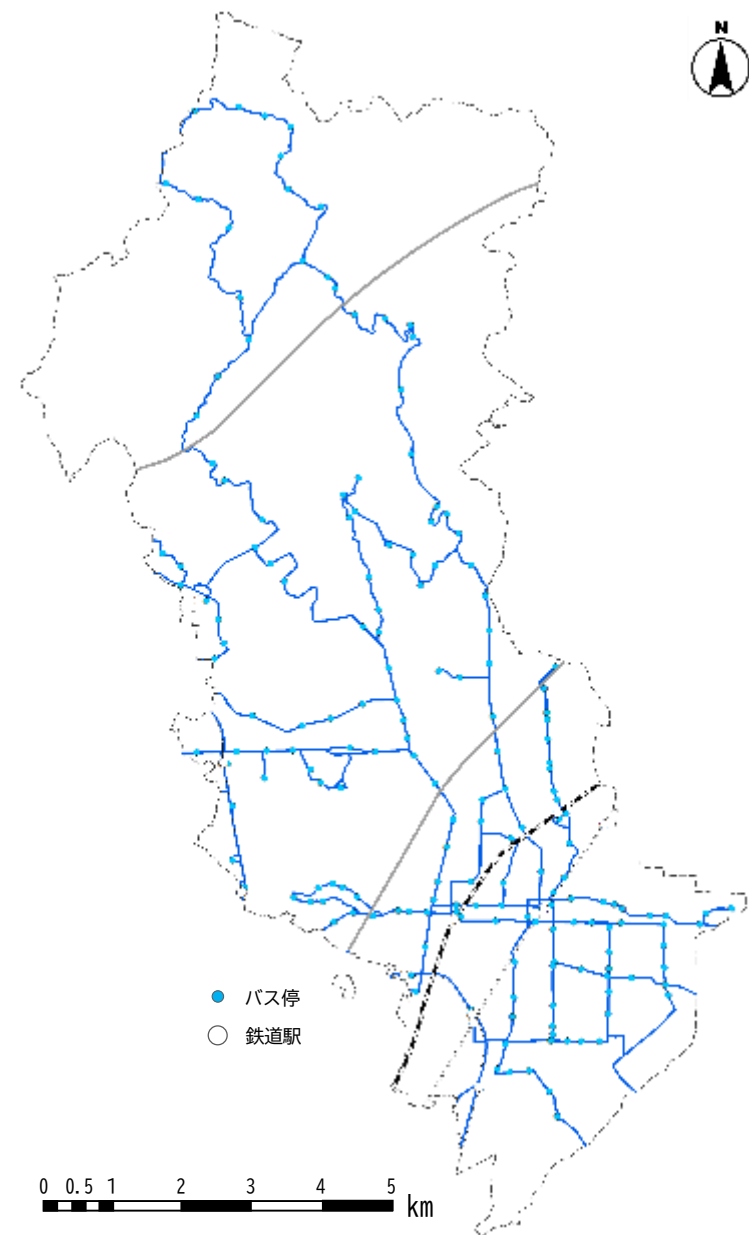
基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

参-2 バス路線図

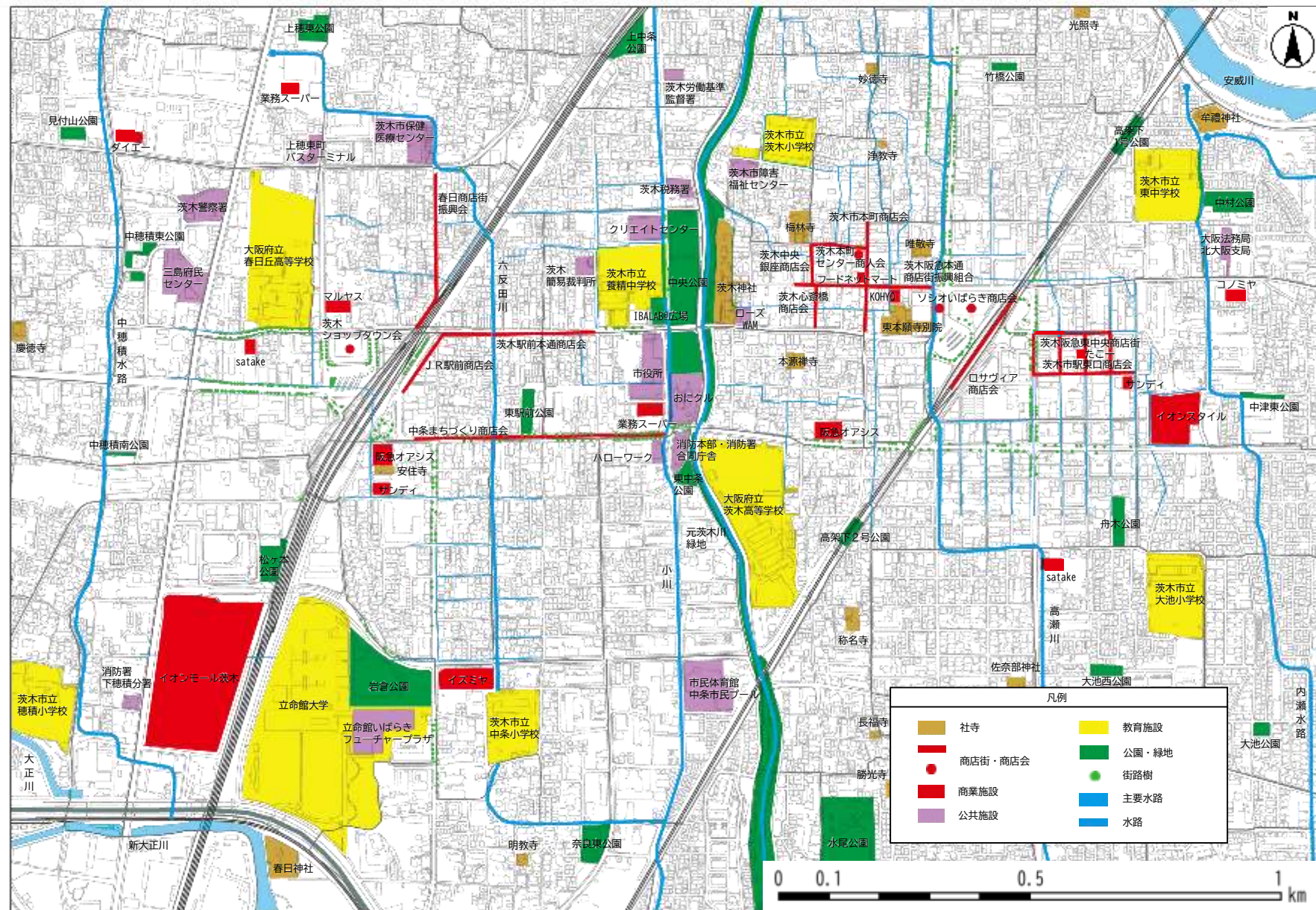
J R 茨木駅発				
事業者名	行き先	平日	土	日・祝
阪急バス	駅前通り 方面 阪急茨木市駅（西口）	83	82	82
	府民センター前 方面 中河原南口、国道豊川、小野原、阪急石橋阪大前駅、彩都西駅	73	65	65
	府民センター前・豊川一丁目 方面 中河原南口、郡山団地、豊川四丁目、豊川一丁目、宿川原	52	43	43
	府民センター・保健医療センター 方面 桑原橋、中河原南口、上福井、茨木サニータウン、忍頂寺、奥、粟生団地	69	67	67
	保健医療センター・下穂積 方面 追手門学院前、阪急山田駅、千里中央	23	20	20
	保健医療センター・下穂積 方面 ロジスタ・ロジクロス茨木彩都	4	4	4
近鉄バス	日本庭園・阪大病院方面	82	50	43
	松沢池・春日丘公園	45	36	36
	阪急茨木市駅	98	66	59
	水尾→平田一丁目方面（循環）	48	37	37
	桑田町→水尾三丁目方面（循環）	43	34	34
京阪バス	竹ノ内町、枚方市駅	66	59	58
	白川三丁目	6	0	0
	寝屋川市駅	38	25	25

阪急茨木市駅発				
事業者名	行き先	平日	土	日・祝
阪急バス	茨木市役所前 方面 忍頂寺、茨木サニータウン、粟生団地、奥、郡山団地、豊川四丁目、 阪急石橋阪大前駅、中河原南口、彩都西駅	85	85	85
	竹橋町 方面 桑原橋、車作、茨木山手台七丁目	22	21	21
	竹橋町 方面 ロジスタ・ロジクロス茨木彩都	4	4	4
	茨木市役所前（J R 止） 方面 J R 茨木駅	11	11	11
	西面大橋、柱本団地	24	20	20
近鉄バス	花園・東和苑	46	36	36
	日本庭園・阪大病院方面	82	50	43
	松沢池・春日丘公園	14	14	14
	南摂津駅	45	37	33
	水尾→平田一丁目方面（循環）	48	37	37
	桑田町→水尾三丁目方面（循環）	43	34	34
京阪バス	J R 茨木東口	95	74	74
	竹ノ内町、枚方市駅	69	64	62
	白川三丁目	12	0	0
	摂南大学、寝屋川市駅	42	25	25
	J R 茨木	108	84	83

令和6年9月時点の時刻表より



参-3 社寺・商店街・公共施設等



基盤地図情報（国土地理院）を加工して作成

参-4 都市機能誘導施策

駅前周辺を含む中心市街地の民間施設に対して、現在の国の支援制度や他市の事例を下記に例示します。

◆補助金による誘導

→設定された誘導機能の条件を満たす施設整備に係る費用に対して補助金を支出する

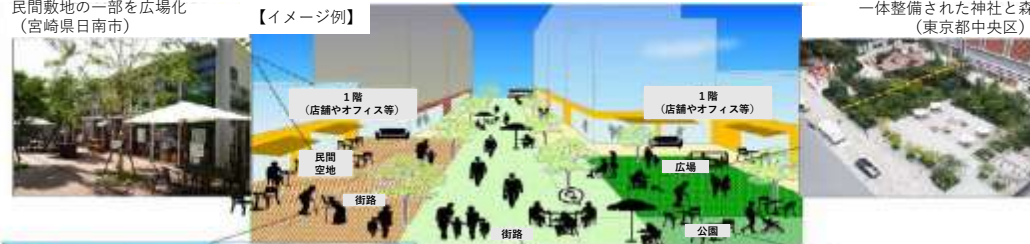
制度事例：まちなかウォーカブル推進事業（国土交通省）

支援主体	国土交通省
制度内容	居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに資する道路・公園・広場等の整備や修復、利活用、滞在環境の向上等の取組に対し、事業費の1/2の補助金の支援を行う
条件等	都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域内で、立地適正化計画の取組を進める市町村の市街地化区域等内の駅から半径1 km圏内等

ガラス張りの店舗にリノベーションすることで
アクティビティを可視化するとともに、
民間敷地の一部を広場化
(宮崎県日南市)

【イメージ例】

2つの開発の調整により
一体整備された神社と森
(東京都中央区)



駅前のトランジットモール化と広場創出
(兵庫県姫路市)



道路を占用了した夜間オープンカフェ
(福岡県北九州市)



公園を芝生や民間カフェ設置で再生
(東京都豊島区)

◆規制緩和による誘導

→市独自の要件を満たす優良な開発に対して、開発に係る費用の補助や容積率の緩和等の支援

制度事例：宇都宮市都心部まちづくり貢献開発支援事業

制度主体	宇都宮市
制度内容	事業費の補助、容積率の緩和
条件等	市が設定する公共貢献への取組、費用便益比が1.0以上等

◆融資等による誘導

→一定の機能の施設整備を行う事業者に対して融資等を行う

制度事例：グリーンアセット等整備支援

支援主体	民間都市開発推進機構
制度内容	事業費の一部に対し貸付等を行う
条件等	緑地等の公共施設や通路整備等を伴う一定の開発事業

◆税制特例等による誘導

→一定の開発に対して固定資産税等の減免等

制度事例：まちなか建替えスタートアップ事業

支援主体	北九州市
制度内容	オープンスペース面積の固定資産税相当額(5年分)の助成
条件等	低層部をセットバックする事務所・店舗等の建物等

参－５ 経過

- 明治９年（1876年） ＪＲ茨木駅（国鉄茨木駅）が設置される
- 昭和45年（1970年） 大阪万博の開催にあわせて駅前広場と道路を街路事業により市が、駅前ビルを民間事業者がそれぞれ整備
- 平成27年（2015年） 駅前広場の一部バリアフリー化を実施
- 平成30年（2018年） 駅舎改良工事により、改札内でのエスカレーター設置や駅ナカ店舗の増設等が実施される



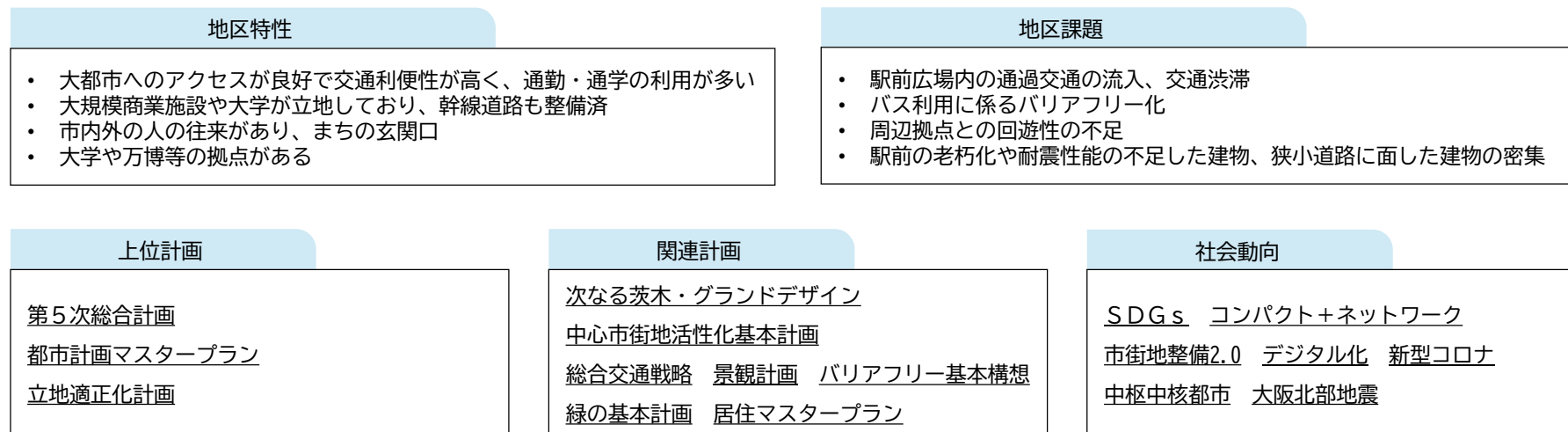
【再整備検討区域】
駅前ビル、駅前広場、北東および南西の密集市街地を含む約2.5haの区域を基本とする

H29年 1 月	駅前ビル管理組合総会にて再開発事業による建替え推進決議が可決 区分所有者ベース：約72％ 持分割合ベース：約88％
H29年12月	対象区域内の任意の関係権利者（市、西日本旅客鉄道㈱、駅前ビル、密集市街地）によりＪＲ茨木駅西口駅前周辺地区まちづくり協議会を設立
R 1 年 8 月	まちづくり協議会が再整備の検討に向け、計画作成パートナーに大成建設㈱を選定（１年間）
R 3 年 9 月	ＪＲ茨木駅西口駅前周辺まちづくりビジョンを策定
R 3 年12月	アンケート調査 回答数：735件
R 4 年 3 月～9 月	ＪＲ茨木駅西口周辺まちづくりワークショップ（全6回）
R 5 年11月	社会実験「あおぞらリビング いばソト」

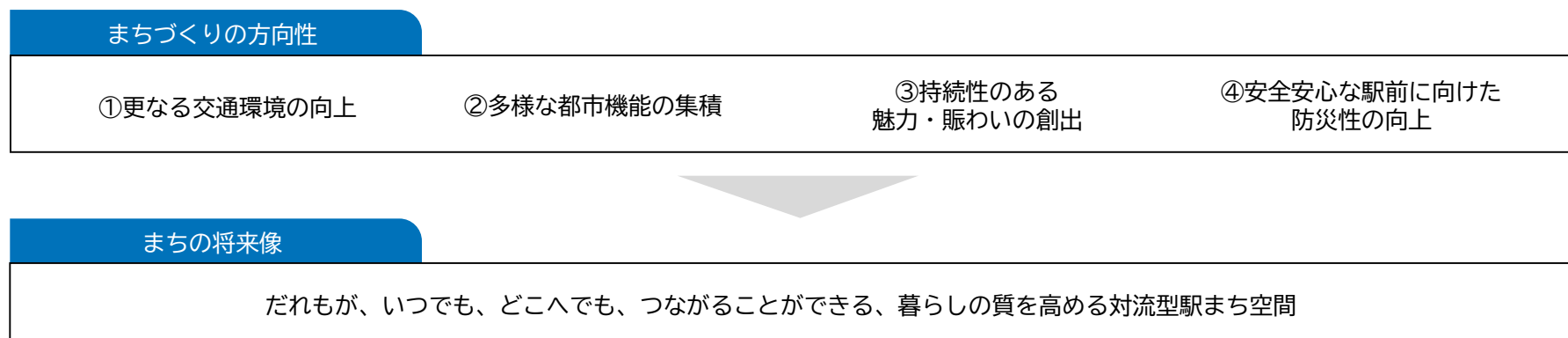


参－７ 取組み：まちづくりビジョン（令和３年９月策定）

- 目的：課題の解消と新たな「まちの顔」となる駅まち空間の再整備に向け、行政だけでなく、市民や多様な関係主体と目標を共有することにより、まちづくりの連携や促進を図る。



地区の特性・課題、上位計画・関連計画や社会動向との関係性を整理し、まちづくりの方向性、まちの将来像を示す



参－７ 取組み：アンケート調査（令和３年12月）

- 調査目的：駅前に求められる役割を整理するため、関心の高い分野やニーズの傾向をつかむこと
 調査方法：WEBアンケートにてオンライン回答（紙での回答を含む） 調査対象：市民、ＪＲ茨木駅周辺の利用者
 調査期間：令和３年12月１日～令和３年12月28日 調査項目：①回答者属性、②利用内容、③満足度、④まちづくり 回答者数：735人

◆主な質問項目

Q13 J R茨木駅西口周辺の課題を改善するために、優先して取組むべきと思うものは何ですか？（5つまで）



Q14 何があればもっとＪＲ茨木駅西口周辺を利用したい・活動したいと思いますか？（5つまで）



Q15 より魅力的で住んでみたい・住み続けたいまちになるため、J R茨木駅西口周辺はどのようなまちを目指す必要があると思いますか？（5つまで）



◆自由記述（305人／735人）

- 昔のままのロータリーや狭い道、自動車、自転車、人が同じ道路を使用し、ごちゃごちゃしていて危険なので、整備して欲しい。
- バス待ちや時間をつぶしたいと思う場所が無い。
- もっと歩行者目線に立った交通体系を考えて欲しい。
- 人と待ち合わせができる場所。
- 駅の行き来で立ち寄ることができる商業施設ができれば、家族世帯はもちろん単身者や学生にとってもより魅力的な街になるように思います。
- 木々が多く緑が豊かで安全に配慮された景観になってほしい。
- 駅前ターミナルの立地を活かした世代間交流スペース。
- 駅前の歩道、建物、いずれも古いまま変わっていない。使いやすく、リニューアルしてほしい。
- 人がくつろげる、憩いの場所や広場兼防災広場のものがあると利用したい。
- 魅力かつ回遊性のある街になればと望む。

参－７ 取組み：まちづくりワークショップ（令和4年3月～9月 全6回）

■ 目的：駅前がどうなれば良いか、どのように過ごしたいかなどの想いを確認 参加者の延べ人数：197人

たくさんのアイデアに共通する5つのキーワードと参加者の皆さん一人一人の想いを重ね合わせて、6つの駅前のイメージ図を作成

豊かな暮らし

つながり
(ひと、地域)

交流

文化的

みどり豊か

① いつもの朝と豊かな日常（平日・朝）

いつもの朝の慌ただしい通勤・通学。そんな日常からは少し離れて、駅を利用する多種多様な人が家と職場・学校との切り替わりに、駅でゆっくりと読書をしたり、ヨガをしまたり、自分を豊かにする時間、過ごし方。



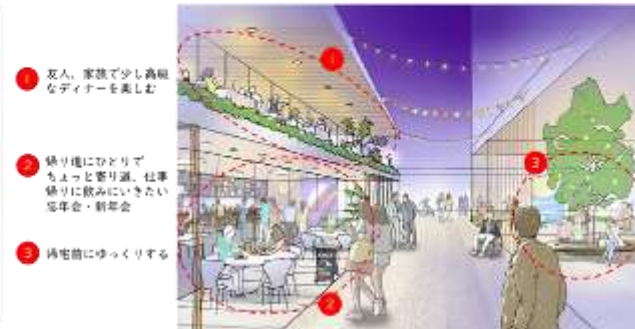
② 普段の暮らしに加わるプチ贅沢なひととき（平日・昼）

親子、友人、老夫婦、同僚といった近しい関係の人が便利な駅前で時々集まり、シェアキッチンを使っておいしいランチと会話をしまたり、趣味のワークショップに参加したり、コワーキングスペースで仕事をしたり、普段の生活とは違う、ちょっと贅沢な時間を過ごす。



③ 暮らしを豊かにする潤い・出会い（平日・夜）

仲間、同僚がよい食事と会話をしましながら交流をしまたり、仕事帰りにふらっとお気に入りのお店に立ち寄ったり、子どものお迎えの会間にゆっくりとしまたり、一日の終わりに彩りや潤いが感じられる良い雰囲気の時。



④ いつもとちょっと違う非日常（休日）

万博記念公園等でのイベントと連携したサテライトイベントや、キッチンカーやマルシェが駅前でも実施されてしまったり、イベント帰りの人たちが少し休憩しながら家族、友人と会話をしまたり、平日に利用する駅前とはちょっと違う、非日常な時を過ごす。



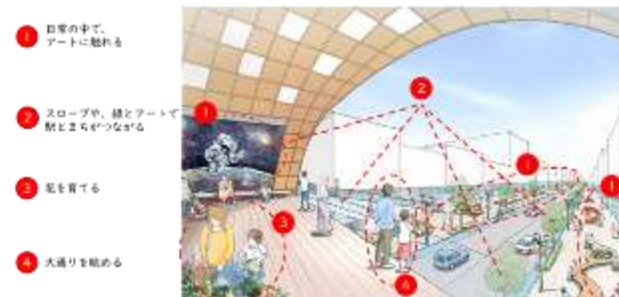
⑤ 居心地が良く歩いて楽しい（全時間帯共通）

沿道建物の低層部にはオープンカフェが設けられ、ゆったりとした歩道には緑やひと休めるベンチがあったり、駅前と駅周辺の目的地やお気に入りの場所までの通り道が、心地よく歩ける場所。



⑥ まちの顔・周辺とのつながり（全時間帯共通）

人々が居ることのできる茨木の顔となるような駅前空間、駅前が拠点となったアートが感じられるまち、みどりや花を育てて交流や魅力を育んだり、茨木らしいセンスが感じられる、まちの拠点。



参－７ 取組み：社会実験「あおぞらリビング いばソト」（令和５年11月26日 10時～15時）

- 目的：まちづくりワークショップでのイメージ図を参考に、現状の駅前に「仮想広場空間」を設け、公共空間利用における滞留行為を確認
- 開催場所：ＪＲ茨木駅西口タクシー広場
- 内容：滞留、休憩スペースの設置（芝生、テーブル、椅子、キッチンカー、飲食ブース等） 来場者数：411人



来場者アンケート（N=200）

Q. 本日の社会実験を
どのように感じましたか。



社会実験に「満足」・「普通」と感じた人が98%で、一定の評価を得ました。

Q. 将来、駅前に芝生などの広場空間があれば、利用したいと思いますか。



今後も芝生などの広場空間を「利用したい」が93%と多く、「利用したくない」は0%であり、広場空間のニーズが確認できました。

Q. 広場空間の広さについて、
どのように感じましたか。
※今回の広場空間は約500㎡



「小さすぎる」という声が64%と多く、「丁度良い」と答えた人も33%おられました。

Q. 駅前が「こんなふうになったらいいな」

- ・ 移動図書館や朝市があると嬉しい！
- ・ 音楽が流れてるといいな！
- ・ 大きなスクリーンでスポーツや映画を観たい！
- ・ カフェ+テラス+広場（大人も子どももくつろげる場所）
- ・ 全天候型施設があるといいな！
- ・ バス待ちの20～40分楽しめるところがほしいな！
- ・ 心地よく滞在できて、人と出会える場所になればいいな！
- ・ 緑を増やしてほしいな！

現状の駅前で仮定の広場空間を設ける社会実験を開催し、次のニーズが確認できました

バス待ちを楽しめる空間

気軽に立ち寄れる場所

交流の拠点・滞留空間

みどり豊かな景観

魅力的な賑わい空間

参考資料＜阪急茨木市駅西口駅前周辺整備＞

参－８ 経過

- 昭和３年（1928年） 阪急茨木市駅（茨木町駅）が設置される
- 昭和45年（1970年） 大阪万博の開催にあわせて市街地改造事業により駅前広場やソシオ茨木（茨木ビル・永代ビル）が整備される
- 昭和54年（1979年） 西口駐車場が整備される
- 平成４年（1992年） 阪急茨木市駅付近単独立体交差事業により高架化され、駅ナカ商業施設（ロサヴィア）が開業する



【再整備検討区域】
ソシオ茨木（茨木ビル・永代ビル）
および駅前広場を含む約1.6haの区域
を基本とする



H26年12月	駅前ビル管理組合（阪急茨木駅前ソシオ管理組合）総会にて再開発事業による建替え推進決議が可決され、建替え推進委員会が発足 区分所有者決議：124/133名（93%）
H27年３月	ソシオ管理組合が阪急阪神不動産㈱・㈱大林組を事業パートナーに選定
H29年11月	再開発事業の実施に向けた株式会社をビル権利者の有志が設立 再開発方針の都市計画決定（大阪府・12月）
H30年８月 ～R２年６月	阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会（全10回）
R２年６月	阪急茨木市駅西口駅前周辺整備基本計画（案）を公表・意見募集
R２年11月	超高層建築物編（案）の都市計画審議会への意見聴取
R４年５月	計画案の見直し及び阪急茨木西口駐車場を再開発事業の検討区域から除外
R４年８月	アンケート調査 回答数：1,864件
R５年３月	事業者サウンディング 参加者数：7社
R５年５月	市からソシオ権利者へ敷地売却事業による建替えを提案 再整備の目標：「将来の更新性を確保し、商業機能の充実と魅力ある都市空間を創出する」
R５年６月	ソシオ管理組合総会 「建替の事業手法は市街地再開発事業ではなく、マンション建替え等の円滑化に関する法律による自主建替とすることについて」議決 〈付帯決議事項（抜粋）〉 ②事業手法は、市から提案されたマンション建替え等の円滑化に関する法律に基づく敷地売却事業に関しても、適宜、市と情報を共有しながら検討すること。 ③事業パートナー２社を事業協力者（阪急阪神不動産㈱は参加組合員予定者、㈱大林組は設計施工の優先交渉者）として位置付ける協定を締結すること。
R５年11月	市提案（敷地売却事業）について権利者説明会を開催（全３回）
R５年12月	ソシオ茨木建替え推進委員会において、建替えの手法はマンションの建替え等の円滑化に関する法律に基づく建替え事業としながらも、市提案における「将来の更新性」や「商業機能の充実」の考え方を取り入れ、駅前にふさわしい魅力ある都市空間となるよう、市と協力して計画を立案する方針を決定

参-10 取組み：まちづくり学集会（平成30年8月～令和2年6月 全10回）

【概要】

（1） 目的

阪急茨木市駅周辺の商店会や自治会、阪急茨木駅前ソシオ管理組合、茨木市関係課などが集い、阪急茨木市駅周辺の特徴や課題、各組織の取組状況を共有するとともに、阪急茨木市駅周辺の将来像を展望・共有し、今後のまちづくりへの展開に資することを目的に開催。

（2） 開催経過

平成30年8月30日（木）から令和2年6月25日（木）全10回 延べ出席者数 159名

【参加者からの主な意見】

（1） まちの特徴

- ・交通利便性が高い
- ・暮らしやすい、住みやすい
- ・まちに若い人（世代）が増えてきた（中心市街地の人口は増加している）
- ・子育て中のママさんが喜ぶ店がある
- ・リノベーションしたカフェなど、魅力的・個性的な店が増えてきた
- ・中心部に駅や市役所、商店街等がまとまっており、利用しやすい
- ・地震をきっかけに防災の取組みが進んでいる
- ・地元意識が強い人が多い
- ・世代を超えて仲が良い
- ・商店街が多い
- ・イベントが多い
- ・茨木神社・茨木別院などの歴史的資源がある
- ・自然が近い

（2） まちの課題

- ・商店街は日が暮れるとシャッターが閉まり、人通りが少ない。
- ・商店街は過渡期。店主の高齢化が進んでいる。
- ・商店街は元気が無い。みんなで何かをやる元気が欲しい。
- ・店舗等を営業するにあたり、土地が高い、家賃が高い。
- ・駅から商店街までがわかりにくい
- ・駅前のソシオビルが老朽化し、まちがさみしい。賑わいが無い。
- ・バスターミナルが混む。バス乗り場まで行きにくい・わかりにくい。
- ・道路が渋滞している
- ・駐輪場が少ない。自転車マナーが悪い。歩道を安全に歩けない。
- ・若い人や地域の人が集まる場所、ゆっくりできる場所が無い。
- ・子どもが遊ぶ場所が無い

【まとめ】

	現状・課題	実現に向けたまちへの思い
機 能	・中心市街地に交通や市役所、商店街等が集約され、生活利便性は高い ・道路の渋滞やバス乗り場の案内不足など、交通振興の取組が必要 ・若い人や地域住民が集まる広場、子どもが遊ぶ場所などが不足	・交通振興の取組により、歩行者や車道の安全性・利便性の向上 ・休憩・多世代交流・イベント開催など多目的に活用できる広場の創出 ・賑わいや賑わい、子育て等に必要な機能の確保
商 業	・中心市街地の人口は増加しており、イベントをすれば人は集まる ・魅力的・個性的な店舗が不足 ・商店街店主の高齢化、開店時間が早い、休憩場所が少ない等、商業の中心地としての賑わいや魅力が低下	・歩いて楽しいまちづくりの演出など全体のマネジメントによる開店性の向上 ・魅力的・個性的な店舗が多い商店街などがあるまち
つ な が り	・市民力が高く、イベントが盛り上がり、賑わいがあふれる ・駅前から中央公園までのつながりが不足 ・駅から商店街への距離がわかりにくい、駅と商店街のつながりが不足	・駅から中央公園までの距離である程度歩行可能な距離に短縮できる場所があり、地域交流や住民等とのネットワークにより、自分たちのまちが生まれるなど、まちと人、人と人、人と活動がつながるまち

必要な機能	具体的な活用・過ごし方のイメージ
憩い	自然が感じられ思い思いに過ごせる広場 ・広場を利用する各人が季節を感じたり、休憩、読書、イベント参加、音楽鑑賞、友人との待ち合わせなど、思い思いに過ごす広場 ・歩くだけで気分が良くなる、楽しくなる街並み ・駅と商店街の動線沿いやビル屋上に広場（芝生）があると良い など
賑わい	生活に潤いを与える魅力的な空間 ・記念日や仕事帰りに遅くまで利用できるカフェや飲食店 ・シニア世代がちょっとカッコつけられる、大人がデートできるお洒落なお店 ・天候に関わらず音楽やダンス等のイベントが開催できる屋内広場 ・イベントがなくても飲食等の利用ができる広場 など
子育て	地域ぐるみの子育て支援 ・幅広い年齢の子ども（未就学児～小学生）と一緒に利用できるカフェ ・子育てサロン等で学生が放課後や休日のお手伝い、子どもイベント開催 ・子どもが急に体調になった時でも対応できる施設（病児保育など） ・託児所付きの施設（レストラン・美容室など） など



参-10 取組み：アンケート調査（令和4年8月）

【概要】

（1）調査の目的

阪急茨木市駅西口周辺整備の計画案の見直しに向けた新たなスタートにあたり、改めて駅前が果たす役割等について検討するため、駅周辺の利用状況や、駅前に期待することなどについて幅広く意見を伺うことを目的とする。

（2）調査の方法

インターネット及び調査票による回答
広報いばらき8月号、市ホームページ、SNS（Facebook、X（旧Twitter））への掲載及び市内公共施設、駅等にポスターを掲示
阪急茨木西口駐車場と別院町自転車駐車場に調査票（アンケート用紙）と回収箱を設置
阪急茨木市駅周辺の自治会や商店会へ周知や回覧及び調査票の配布等の協力を依頼

（3）調査の対象

市民及び阪急茨木市駅周辺の利用者

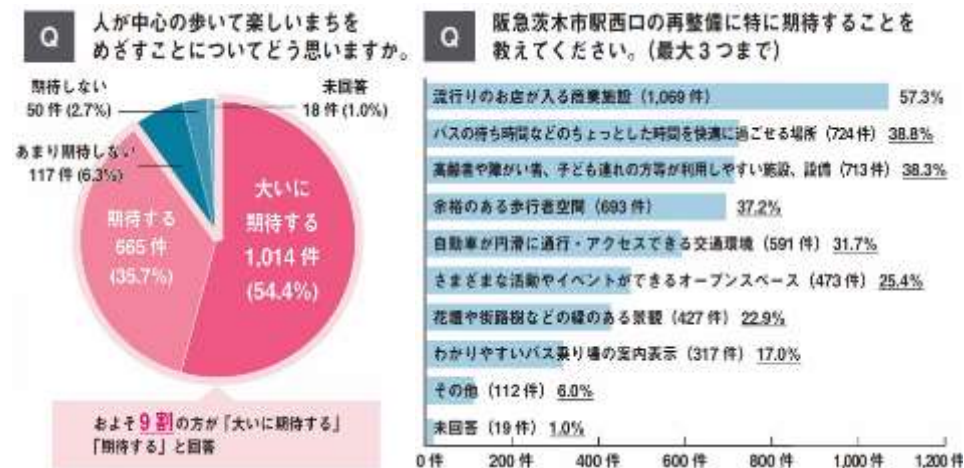
（4）調査の期間

令和4年8月1日（月）から8月31日（水）

（5）回答数

1,864件 [内訳] インターネット：1,686件、調査票：178件

【結果（抜粋）】



【自由意見（抜粋）】

-計画案-

- 駅前は高層ではなく、低層でゆっくりした場所になることを期待する
- 駅直結の大規模マンションを非常に楽しみにしており、大いに期待している
- 茨木市に似合う、落ち着いた学びと緑、賑わいのある空間。高層ビルやマンションは、防災の観点からも落ち着いたまちづくりからも不要
- 時代にあわせて柔軟に変化させやすい構造が必要。新しいものを建てても、時代の変化に柔軟に対応できなければ、10年ももたない
- 待ち合わせ時など駅前のベンチで気持ちよくコーヒーが飲めるような雰囲気
- 茨木らしい親しみを感じられる整備を期待

-まちづくりへの提案等-

- バス料金の市民割引
- タワーマンションのような小手先の手段ではなく、魅力で人を集める市政を願う
- 花や緑が至る所で目に入るようなエリアにしてほしい
- JR茨木駅から阪急茨木市駅まで歩くと遠いが、バスで220円を使うほど遠い訳ではない。あの区間だけでいいので、自転車や電動スクーターがあると嬉しい。
- ゴミ箱を設置してほしい
- 若者に人気のあるテナント（カフェやファストフード）
- 文化・芸術が身近にあり、マルシェなど人が集う場所
- バスの待ち時間を過ごすため、1階にカフェと本屋さん
- オシャレで上質な空間にしてほしい

-現状に対する不満、再整備に期待すること-

- 建物（ソシオ）
 - ・ 老朽化した建物が暗くてこわい
 - ・ ばちんこ屋が駅前にそぐわない
 - ・ 路上喫煙で空気やマナーが悪く子連れで通過できない（駅前の雰囲気を損ねている）
 - ・ ロサヴィアと連動した明るい空間になってほしい
- 周辺道路の混雑
 - ・ 渋滞がひどいので、車が高架下を通れるようにするなど抜本的な改善を願う
- 駅前広場
 - ・ どの路線が何時に発車するのか分かりづらい
 - ・ バスの便数が減って待ち時間が増えているので、雨や日よけを考えた設計
 - ・ 車での送り迎えがしやすいように停車スペースがほしい
 - ・ 鳥の騒音やフンが気になる
- 駐輪場
 - ・ 電動自転車（こども乗せ）が置きにくい
 - ・ 時間帯によっては停められないので、駐輪台数を増やしてほしい
- 駅周辺の利用環境
 - ・ おむつ替えができるトイレや授乳ができるスペースがほしい
 - ・ 安心で清潔なトイレを増やしてほしい
 - ・ リモートワークスペース、ミーティングスペース、勉強できるスペースがほしい
 - ・ 歩道が狭く、凸凹も多いので自転車やベビーカー、車いすが通りにくい
 - ・ 歩きたばこが多く、治安が悪く見える

茨木市駅前周辺整備基本計画
令和7年（2025年） 月発行

茨木市 都市整備部 市街地新生課
〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号
電 話：072（620）1821
メー ル：shigaichi@city.ibaraki.lg.jp

